

はじめに

# 学校選択制の光と影

深谷昌志

## ●アメリカで見たもの

「学校選択制」の実態に初めて接したのは、20年以上前のアメリカ西海岸だった。その頃、毎年のように、小中学生を対象にした国際比較調査を行っていたので、シアトルやサンフランシスコ、ロサンゼルスなどの地域を訪ねて、保護者や子どもの立場から教育行政を調べるようになった。

教育の地方分権化が進んでいるアメリカらしく、学校選択制の姿に、都市ごとの特色がみられたが、どの都市でも、保護者が子どもの在籍する学校を選択する制度は実施されていた。

シアトルから南に1時間ほど離れたタコマ市を例にとると、分厚なスクールガイドがあって、市内の30校ほどの学校の概要が収録されている。「一人ひとりの子どもの個性を伸ばすことを大事にしている。優れた音楽の先生がいて、オーケストラがある」とか、「伝統的なしつけを重視しているので、しつけが厳しい。算数の学力は市内1位である」のような学校ごとの記述がなされている。

現代流に言えば、情報の公開になるのであろうが、児童数や教員構成、校舎の配置や学校行事、児童規則、評価の仕方、給食のメニュー例などが載せられている。保護者は、スクールガイドを見て、何校かの志望校を決め、実際に参観して入学先を決定する仕組みだった。

スクールガイドを手がかりとして、何校かを訪ねてみた。それぞれに個性のある学校だったが、記載されている事項はかなり正確なこともわかった。

教育学の研究者だから、それまで知識とし

て、学校選択のことは知っていた。もちろん、その当時、日本では学区制が堅く守られ、学校選択などは夢物語だった。それだけに、アメリカで現実にもた学校選択制のもとでは、保護者や子どもが自分に合った学校を選択し、子どもが楽しく通学できる。夢の学校システムのように思えた。

その後、イギリスやニュージーランド、オーストラリアなどで、子ども事情を調査する機会があり、保護者が学校を選択する制度が広く定着しているのを知った。もちろん、学校の裁量権がどの程度認められるか。あるいは、保護者の権利がいかに保障されるかなどで、社会による違いがみられた。それでも、保護者が希望する学校にわが子を通わせる制度が定着していた。それだけに、日本でもいつか保護者の学校選択が認められる時代が来てほしいと願った。なかば無理と感じながら、そう思ったものである。

## ●学校選択の状況

日本でも、2000年の品川区（小学校）を皮切りに学校選択制が広まっている。そして東京に限っても、足立区や港区に続いて、2004年に渋谷区、新宿区などでの導入が進み、23区中の18区で、学校選択制が始まっている。そして、浦安市や志木市など、東京以外でも、学校選択制を始めている自治体が多くなった。

学校選択制の先駆を切った品川区によると、選択制が導入されて、①学校間の競争が進み、学校が活性化した、②保護者の学校に対する関心が高まったという。特に、個別学習や教科担任制、小中学校の連携、国際理解

教育などが浸透したといわれる。

品川区では、6月頃から各校で公開説明会を行った後、9月に申請を受けつけし、10月末に申請を締め切る。そして、11月に希望者が多かった学校の抽選を行う。その後、12月中旬に就学通知書を発送するスケジュールを発表している。

なお、2004年度（2005年度入学予定者）の場合、選択権を行使した保護者は、小学校入学予定者では2,117名中の484名で22.9%、中学校へは1,916名中の555名で29.0%だった。そして、区内の40小学校の中で、W校のように、入学予定児童が109名で、校区外からの入学希望者が67名、他校への転出希望者が4名で、差し引き63名増のような人気校がみられる。X校も、71名（入学予定児童）、40名（校区外からの希望）、6名（他校への転出希望）で、プラス34名である。それに対し、Y校のように96名、6名、44名で、マイナス38名、Z校の56名、3名、31名でマイナス28名の状況がみられる。

このように小学生になる子どもの5人に1人の保護者が、中学生になる子どもの3人に1人の保護者が選択権を行使している。そうすると、学校側も、区が提起しているように、保護者の意向を配慮して、学校改革を進め、学校の活性化が進むように思われる。

そうした一方、意欲的な教育改革を試みることで知られる世田谷区は、小学校は地域に密着した形が望ましいと、学校選択制とは対照的な地域性に根ざした学校運営を提唱している。そして、世田谷区に近い中野区も、平成17年に実施予定の学校選択制の延期を発表している。したがって、学校選択制を疑問視する動きもみられる。

## ●調査を通して考えたこと

こうした状況をふまえ、学校選択制が20年ほど前にアメリカで感じたような夢に充ちた制度なのか、それとも、何か問題があるのか、

実際の状況を知りたいと思った。

そこで、東京の山の手と下町にある2つの区の小学校を調査地域として、学校選択制についての保護者の意識調査を実施してみた。それと同時に、両区の中の数校を訪ねて、校長先生から、学校選択制についての聞き取り調査を行うと同時に、子どもたちにもアンケート調査を行ってみた。

詳しい結果は本文をみてほしいが、先回りして、問題を指摘するなら、大づかみにすると、3点の問題が浮かんできた。

### ①学校選択以前の問題として、私立中進学の影響が大きい

本サンプルの保護者の場合、国立附属中の0.9%を含めて、26.8%が私立中の受験を考え、実際に25.4%の保護者の子どもが、私立に進学している（表2-1）。児童の4人に1人が私立中に進学している計算となる。しかも、私立中への進学を考える保護者は、進学先の選定に悩み（表2-2）、かなりの準備をして（表2-3）、私立の試験に臨み、進学している。したがって、保護者や子どもの意識に、学校選択という前に、私立中を受験するかどうかは横たわっている。

率直な指摘を試みるなら、私立中を受験するのは、経済的にも豊かで、学力的にも高く、強い達成意欲を持った階層が多いだろう。そうした層の子どもが公立中に背を向けている。そうすると、中学サイドからすると、意欲的な上位3割が入学せず、残りの7割が入学してくることになる。

教育の研究者としての感想を言わせてもらうなら、私立中の教育内容が公立中を大きく上回るとは思えない。私立中に問題の多い学校もみられる。その反面、とかく軽視されがちな公立中に優れた学校が多いのを感じる。しかし現状では、私立中ブームの中で、公立中の地盤が沈下し、公立は存在理由を失いかけている印象を受ける。

公立中は、私立中へ進む層の判断を尊重し

て、公立としては、私立ではできない独自の路線を進むのか、それとも、私立と競い合って、私立に負けない学校作りを目指すのか。公立の姿勢が問われているように思われる。

## ②学校差でなく、地域差が働いている

そうした私立学校の問題は別として、すでにふれたように小学生になる子どもの2割、中学生になる子どもの3割が他学区の学校へ進んでいる。本誌で触れるように、学校選択にあたり、学力のレベルにそれほどのこだわりはなく、それより、いじめのない学校を選びたいという気持ちが強いという結果が得られた。

調査結果が得られてから、データについての感想を聞きに地域を訪ね、小学校の校長先生から話を聞かせてもらった。地域を歩いていると、学校選択にあたっての人気校の条件がみえてくる感じがした。人気校は、JRの駅から近いことやバスのターミナル周辺というような立地条件のよさに支えられていた。それ以上に、しゃれた商店街や緑地帯を背景に高級住宅地があるというような恵まれた環境を備えている場合が多かった。残念ながら、そうした校区では、多くの子どもが私立中受験を考えているが、受験者数を上回る子どもが校区外から入ってくる。その結果、交通の便がよく、緑の多い住宅地を校区に持つ学校が人気校になるという構図である。

そうなると、学校選択といっても、学校の内容は二の次で、緑の多い高級住宅地というような校区を支える地域的な条件が優先されることになる。こうした状況に納得できるものを感じる反面、学校選択とは何かと考えさせられたのも確かである。

## ③よい学校を支える条件がわかりにくい

人気校を訪ねてみると、他校区からの子どもが刺激となって、学校内に活気があふれているのを感じた。学校紹介のパンフレットをみても、学校改革の取り組みが具体的に提示されている。そして、習熟度別の学級編成を

中心に、学習ドリルの徹底や地域との連携などの動きがみられる。

確かに、意欲的な学校とは思うものの、そうした学校では全体の盛り上がりは欠けるように思えた。進学先や学力というような目につきやすい面の改革に力を入れ、ゆったりとした感じには乏しいという印象を受けた。

同じ区別の小学校を訪ねた。区内では不人気校の1つに数えられるので、問題がある学校なのかと思った。学校は区内の下町地区にあった。古くは旧街道の道筋にあって賑やかな街だったが、現在の町はさびれている。校門の前を上っていく坂道があり、坂の上に高級住宅地があり、そこに、大学附属病院などもある。坂の上の小中学校は区内で1、2を争う人気校である。

校長先生の話によれば、毎朝、たくさんの子どもが坂を上って他校へ通っている。残念とは思いますが、この地区は生活の厳しい人たちが多く、大学進学率も低い。校区のこうした状況をふまえると、学校としては、学校を楽しい場所とするのと基礎学力をつけるのに全力を注ぎたい。いじめのない学校を目指す。みんなで助け合って学力を伸ばしたいから、習熟度別編成は考えていないという。人気校のように、校内はピリピリしてはいないが、落ち着いた雰囲気、この学校は子どもの居場所を作っていると思った。地味ではあるが、好感の持った学校だった。

これも、正直な感想を述べさせてもらうと、人気校の多くに予備校的な競争の匂いを感じた。保護者が望むなら、それも仕方がないと思う反面、不人気校は決して問題のある学校ではなかった。校区が町外れなどの条件の悪い場所で、生活水準が高いとはいえない人が多い。そうした地域性をふまえて、努力している学校だった。そして、校長先生が人間的な魅力に富んでいるのが印象的だった。そして、話を聞きながら、よい学校とは何かを考えさせられたのである。

## ●若干の提案

すでにふれたように、今回の調査では、私立中の存在が大きかった。上位の3割が私立に進む状況では、公立の地盤が沈下し、公立は私立の補完機能を果たすことになる。

こうした公私の問題は、学校選択制より大きな問題なので、ひとまず外へ置いて、学校選択制に焦点をしぼろう。すでにふれたように、調査結果では、学校選択というより、地域選択という性格が強かった。そうした一方、一昔前に比べると、学校ごとの個性が育ってきている。しかし、20年以上前にアメリカで見て驚いた学校ごとの個性と比較すると、学校差が少ない。大づかみにすると、どの学校も同じようなのである。

学校選択制の理念は保護者の希望を生かせるし、学校の活性化にもなる。明るくとらえると、未来の教育が学校選択制を通して実現するようにも思える。しかし、すでにふれたように学校選択制の現実、理想と程遠いものであった。学校選択制の光と影というとき、影が目立つような気持ちがする。そこで、学校選択制をより望ましい方向へ進ませるために、いくつかの提案を行ってみたい。

### ①学校に一定限度の人事権と予算権を

学校選択といっても、現状では、校長に人事権はまったくない。学校独自の予算もない。校長の手足を縛っておいて、個性的な学校といわれても、校長として動きようがない。アメリカに限らず、ニュージーランドやオーストラリアでも、校長は人事権と予算権を握っていた。それだけに学校運営に失敗すると責任を取ることが必要になる。他国並みとはいわないが、せめて、教員異動にあたって、一定の範囲で校長の権限を認める。あるいは、1校につき50万円でもいいから、教育目的のために自由に使える財源を保障するなどの試みが必要であろう。権限を与える代わりに、責任の所在もはっきりさせる必要がある。

### ②経営者としての校長のトレーニングを

これからの学校は、私立志向の強まりの中で、学校選択制も導入され、競争状況の中に身を置くことになる。学校も、企業のように、学校としての方針決定が重要になる。校長は方針を決定する責任者で、企業の管理者的な役割が強まる。そうでなくとも、学校にはたくさん子どもと教師がいて、その背後に保護者も控えている。これまでの校長は教育者の代表だった。しかしこれからは、教育者であると同時に、経営者的な感覚が必要になる。校長をみていると、教育者として優れているが、経営者としての知識や技能はあまり身につけていないと思われる人が少なくない。そのため、教員や保護者との間に軋轢が生じたりするようだ。校長にも経営者としてのトレーニングが必要なように思った。

### ③重点的な設備投資を

昨年、サンフランシスコ郊外の都市を訪ねたとき、問題の多い地域に素晴らしい設備の学校が建てられていた。よくいわれるマグネット・スクール的一种で、磁場を作り、そこに子どもを引き寄せる計画だった。アメリカの学校にはめずらしく室内プールやコンサートルームの設備が備わっていた。

今回の結果では、いわゆるよい地域の学校に子どもが集まり、不便な地域の学校の過疎化が進んでいた。それだけに、校長から改革プランを提出してもらい、それを公開で審査し、思い切って重点的に設備投資を行う。そして、人気のある拠点校を作る。教育委員会にもそうした計画的なプランニングを望みたいと思った。

### ④保護者との綿密な連携を

学校選択制がうまくいくかどうかの鍵は保護者が握っている。保護者が賢明な判断を下すことができれば、学校選択制は理想の姿に近づけるが、そうではない場合、学校選択は曲がった方向に進むことになる。それだけに、学校ごとに保護者との連携を密にして、保護者の育成に心がけてほしいと思った。

## 1

# 中学校は何を発信すれば、 選ばれるのか

田中統治

## 1 保護者は学校選択をどう考えているか

「選択に迷い、うわさに振り回されている」ように見える保護者が6～7割（「とても+わりとそう思う」と多いなか、学校説明会と公開授業が鍵を握る。

回答を寄せてくださった保護者のうち、「校区外の公立中学校」を選んだ比率が11.5%、「私立中学校」に進学を決めた比率が25.4%であった（図表省略）。ただし、これは東京都のA区とB区の平均値である。各小学校の実情は地域によって相当に差がある。例えば、学校間の開きを最小値と最大値で見れば、「校区外の公立中学校」の選択率は1.5～24.4%、「私立中学校」の選択率は12.5～40.4%と幅がある。しかも、調査対象の小学校の校長先生へのインタビューの際に確認したところ、「私立中学校」への進学率が最も高かったI小の場合、その確定比率は44.6%であった。ここで分析する対象は、平均で表しにくい特徴もっている。

まず、表1-1で中学への進学準備の程度を尋ねた結果をみてみよう。「進学先の決定にどの程度、悩んだか」を尋ねたところ、「と

ても十かなり悩んだ」割合が26.1%で、4人に1人が決めかねていたことがわかる。また、「小学6年生の時、中学進学のための準備をしたか」で「とても十かなり準備した」割合は、29.4%である。

次に、中学校選択制への賛否をきいたところ、「とても十やや」で80.3%が賛成しており、この制度を好意的に受け止めているようである。ただ、強く支持する割合（「とても賛成」）は全体の4人に1人であり、過半数が「やや賛成」する程度である（図表省略）。

さらに、中学校選択の影響についての意見を尋ねた。すると、表1-2にみるように、「親の学校への関心が高まる」「学校間の競争心が生まれ、学校の特色が出てくる」ことを期待する一方で、「親の選択によって、学校間格差が拡大する」ことを心配する意見もある。つまり、もろ手を挙げて賛成しているわけではない。保護者の多くは、選択制によって、学校教育の活性化を期待しているようである。

そこで、「中学校選択にあたって、親たちの判断をどう感じているか」を尋ねて、他の親たちの動きをきいてみた。その結果、表1-3に示すように、「うわさに振り回され」たり、「迷っている」様子がうかがえる。

「親たちは賢く学校を選択しているように見える」という割合（「とても+わりとそう思う」）は、過半数に達する。しかし、「そう思わない」（「あまり+ぜんぜん」）という意

◆表1-1 中学への進学準備

（%）

〈進学先の決定にどの程度、悩んだか〉

とても悩んだ	かなり悩んだ	あまり悩まなかった	まったく悩まなかった
8.3	17.8	49.0	24.9

〈小学6年生の時、中学進学のための準備をしたか〉

とても準備した	かなり準備した	あまり準備しなかった	ぜんぜん準備しなかった
12.9	16.5	40.1	30.4

見もほぼ同率である。学校選択制が保護者の関心を高めたとしても、結果的に学校選びに「戸惑い」を生じさせている。保護者は確信をもって学校を選ぶために、より確実な情報を求めている。各中学校は保護者の迷いを察知して、学校の特色を客観的な根拠を示しながらアピールする必要がある。

すなわち、資料だけでなく、学校説明会や公開授業の場まで利用して、保護者を納得させることが大切である。その点で、校区外の中学校を選んだ保護者の意見は注目される。表1-4は、彼らが中学校を選ぶときに得た情報源を示している。

また、直接、中学校を訪問した割合は、68.3%に達しており、その訪問校数の内訳は、「1校」43.4%、「2校」30.1%、「3校以上」26.4%にのぼる。学校訪問の機会をみると、「学校

説明会に参加した」(88.8%)が最も多く、以下、「公開授業期間に授業を参観した」(32.7%)、「合唱祭や体育祭など行事を見に行った」(18.4%)、「平日の放課後、部活動を見に行った」(14.3%)である(図表省略)。

このように、校区外の中学校を選んだ保護者の多くは、進学先の学校を慎重に決めるために、自ら複数の中学校に足を運んで、自分の目で学校の様子を確かめることまで行っている。少数ではあるが、教育熱心な保護者たちである。各中学校は、こうした保護者の眼にかなう情報を提供しなければならないだろう。最近、出版された本(吉田新一郎『いい学校の選び方—子どものニーズにどう応えるか—』中公新書、2004年)の中では、この学校訪問時のチェックリストと質問項目まで掲載されている。

◆表1-2 中学校選択の影響についての意見

	(%)			
	とても そう思う	わりと そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜんそう 思わない
親の学校への関心が高まる	18.4	56.2	21.6	3.8
学校間の競争心が生まれ、学校の特色が出てくる	20.5	50.4	24.5	4.7
親の選択によって、学校間格差が拡大する	19.7	47.3	29.2	3.8
学校教育に保護者の意見が反映されやすくなる	6.6	42.0	45.3	6.0
先生たちが自信を失っているように見える	8.0	23.4	60.4	8.2
公立中学校の落ち着きが失われる	6.7	23.2	61.0	9.1

◆表1-3 親たちの中学校選択への判断

	(%)			
	とても そう思う	わりと そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜんそう 思わない
親たちは学校のうわさに振り回されている	18.2	46.9	31.1	3.8
親たちは中学校選択に迷っている	13.1	43.2	40.0	3.6
親たちは賢く学校を選択しているように見える	4.2	48.9	40.5	6.4

◆表1-4 校区外の中学校を選んだ保護者の情報源

	(%)
中学校主催の学校説明会に参加した	61.1
中学校で配布される資料を読んだ	54.2
希望する中学校の卒業生やPTA役員に話を聞いた	27.5
インターネットのホームページを見た	22.9
区や教育委員会の資料を読んだ	16.0
区や教育委員会主催の説明会に参加した	3.8
その他	19.8

(複数回答)

## 2 保護者は学校のどこを見ているか

学校訪問で「通学時間」だけでなく、「先生方の雰囲気や態度」「学校生活の様子」「教育課程の工夫」を知ることができたという保護者が多い。

校区外の中学校を選んだ保護者は、直接、学校を訪れた結果、何について知ることができたのだろうか（表1-5）。ここでは比率よりも、その傾向に注目されたい。すなわち、「通学距離や時間を知ることができた」のは当然としても、「先生方の雰囲気や態度を実感できた」や「生徒の学校生活の様子がわかった」にみられるような「学校の雰囲気」に注目し、さらに「教育課程を工夫していることがわかった」や「学習する内容について理解が深まった」に示される「学習指導の内容」にまで関心を注いでいる。予想に反して、部

活動への注目度はそれほど高くはなかった。それは、校区外の中学校を選んだ保護者の特徴かもしれない。それでも、過半数が「部活動をよく知ることができた」（「とても十わりとそう」）と回答している。

では、子どもが私立中学校を受験した保護者の場合は、どうであろうか。その3割は小学校の低学年の時期から私立中への進学を考えている（図表省略）。私立を選んだ主な理由に、表1-6に示すとおり、学力育成と生徒指導の充実をあげている。

また、学費の負担については、「とても大

◆表1-5 学校訪問してわかったこと

	(%)			
	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
通学距離や時間を知ることができた	54.8	35.7	4.8	4.8
先生方の雰囲気や態度を実感できた	24.1	60.2	13.3	2.4
生徒の学校生活の様子がわかった	24.4	51.2	20.7	3.7
教育課程を工夫していることがわかった	19.5	53.7	22.0	4.9
学習する内容について理解が深まった	13.4	51.2	26.8	8.5
部活動をよく知ることができた	15.5	41.7	36.9	6.0
高校進学への指導と対策が充実していると感じた	13.4	43.9	32.9	9.8

◆表1-6 私立中学校を選んだ理由

	(%)			
	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
私立学校は学力をしっかりつけてくれるから	50.0	47.3	2.7	0.0
私立学校は生徒指導がしっかりしているから	46.7	50.0	3.3	0.0
私立学校は伝統があるから	31.1	41.9	23.6	3.4
私立学校は土曜日に授業をしてくれるから	28.7	36.0	26.7	8.7
私立学校は系列の大学進学ができるから	20.4	36.7	23.1	19.7
私立学校は部活動がさかんだから	20.1	52.3	24.2	3.4
私立学校がのびのびしているから	17.4	53.0	25.5	4.0
私立学校はいじめや非行が少ないから	16.9	57.4	23.0	2.7

変」(14.7%)、「かなり大変」(32.7%)を合わせても、半数には達しておらず、経済的に豊かな家庭が多いと思われる。受験した中学は「3～4校」が過半数を占め、そのうち合格した校数は「1校」が41.7%で最も多い。そして、進学する私立学校への満足度を尋ねたところ、「とても満足」が32.0%、「かなり満足」が54.9%という結果であり、私学選択に満足している(図表省略)。

こうした選択学校のタイプ別分析は、2章で詳しく行うので、次に中学校への期待を中

心に、その特徴をみておきたい。表1-7は、現在の中学教育で行われている改革への賛否をきいた結果である。すると、「複数担任制やクラスの少人数制」、授業のIT化(「情報機器やコンピュータを利用した授業」)、および「スクールカウンセラーの導入」を支持する意見が高くなった。一方、学校改革の中で強調される「部活動を社会体育に移行する」や「学校評議員制度の導入」に対しては、賛成率が低く、「よくわからない」という回答も3割前後と多かった。保護者の関心がよく

◆表1-7 中学教育の改革への賛否

(%)

	とても賛成	やや賛成
複数担任制やクラスの少人数制	50.8	40.9
情報機器やコンピュータを利用した授業	43.2	51.1
スクールカウンセラーの導入	42.6	48.0
環境教育の重視	36.6	56.3
保護者への評価基準の説明	29.9	53.5
中高一貫教育	25.9	40.5
教員の人事考課制度	25.8	40.0
総合的な学習の時間	24.4	51.5
学力別編成などの授業形態の多様化	24.3	49.4
校区の拡大や中学校選択の自由	21.9	51.6
選択科目を増やす	21.6	50.4
ボランティア活動を重視した教育	20.4	58.0
地域の人の力を借りた授業	18.1	63.4
民間出身の校長を採用する	15.3	36.9
授業時間の長さの弾力化	13.7	47.2
学校評議員制度の導入	7.8	40.9
部活動を社会体育に移行する	7.7	28.0

わかる結果である。

また、中学教師への期待を調べたところ、表1-8のとおり、学級経営と道徳教育の指導力を期待していることがわかった。「とても期待する」の値をみると、生活指導や部活動への期待は、3割弱にとどまり、また、高校進学に向けた指導は2割強である。全体に、学力指導への期待は低く、教科外の指導を期待している。学力育成は塾に期待しているのだろうか。

また、学校行事の必要性をきいた結果、

「とても必要」の割合は、「入学式や卒業式」で8割弱、「修学旅行」が7割弱、「中間考査や期末考査」と「運動会」が6割強である。最も低かった項目は、「家庭訪問」の1割強であった(図表省略)。

このように、保護者が注目する中学校の魅力は、全体として教科以外の活動に向いている。しかし、これは公立の場合であって、私立中を選ぶ4分の1の保護者の場合は違う。次章では、こうした選択タイプ別の分析を行う。

◆表1-8 中学教師に期待していること

(%)

	とても期待する	わりと期待する	あまり期待しない	ぜんぜん期待しない
クラスをまとめるのが上手	56.8	37.5	4.5	1.3
モラルや道徳心を重視した指導	43.2	47.0	7.7	2.0
生活指導やしつけに厳しい	28.3	53.8	15.6	2.4
部活動に熱心	26.5	49.5	21.2	2.7
望みの高校に入学させる	23.8	47.7	23.2	5.3
親の話や悩みを聞く	22.0	40.1	31.8	6.1
子どもの競争意識を養う	10.5	43.2	40.7	5.6
しつけや生活指導より学力を優先する	10.4	29.3	51.0	9.3

# 2 学校選択する保護者の意識と行動

## ～保護者の属性と関連させて～ 三枝恵子

### 1 学校選択と保護者の属性

「校区内の公立中学校」へ子どもを進学させる保護者は、保護者の学歴は「18歳（高校卒業）」、職業別では「パートタイム」、子ども数では「3人以上」の場合が多い。一方、「私立中学校」進学は保護者は、「22歳」（大学卒業）、「専業主婦」か「自営業」、「1人」の場合が多い。子どもへの将来の教育期待が高いほど「私立中学校」志向が強い傾向がみられる。

本章では、保護者の意識や意見が学校選択にどのように影響を与えるのか、属性と関連させてみていきたい。まず、今回の調査サンプルの保護者に、子どもを「どこまで進学させたいか」と尋ねたところ、「中学校」（0.8%）と「高校」（9.4%）が合わせて約1割、「短大」（8.1%）と「専門・専修学校」（13.5%）が約2割、「4年制大学」（59.4%）と「大学院」（4.5%）が6割を超え、子どもへの教育期待は高い。これを保護者の学歴、職業、子ども数と関連させてみると、子どもに「4年

制大学」を希望するのは、保護者の学歴では「22歳」（大学卒業）が74.4%、職業では「専業主婦」（70.4%）、子どもの数では「2人」である（図表省略）。

表2-1では、保護者の学校選択を属性との関連で示した。表は、調査の1年前（小学校5年生の終わりの頃）に保護者が考えた学校選択と、4月から実際に進学する中学校をまとめたものである。まず、調査の1年前はどうだったのかをみていこう。「校区内の公立中学校」志向の保護者は、学歴では「18歳

◆表2-1 子どもの進学希望と現実 × 保護者の学歴・職業・子ども数

		昨年の今頃考えた中学進学希望				4月から進学する中学校		
		校区内の 公立中学校	校区外の 公立中学校	私立 中学校	国立大学 附属中学校	校区内の 公立中学校	校区外の 公立中学校	私立 中学校
	全体	62.5	10.7	25.9	0.9	63.1	11.5	25.4
学 歴	18歳（高校卒業）	79.7	9.0	11.3	0.0	78.2	9.7	12.0
	20歳	51.0	11.5	36.9	0.6	52.5	11.7	35.8
	22歳	40.2	10.3	46.0	3.4	46.2	9.9	44.0
職 業	フルタイム	64.0	11.4	22.8	1.8	62.8	11.6	25.6
	パートタイム	67.1	13.9	17.1	1.9	65.8	17.4	16.8
	自営業	55.1	5.8	39.1	0.0	59.2	5.6	35.2
	専業主婦	56.4	7.1	36.4	0.0	59.6	6.4	34.0
子 ど も 数	1人	58.8	11.3	28.8	1.3	54.9	14.6	30.5
	2人	59.9	8.8	30.3	1.0	60.7	10.2	29.0
	3人	66.4	15.3	17.6	0.8	71.3	11.0	17.6
	4人以上	88.0	4.0	8.0	0.0	80.8	11.5	7.7

(高校卒業)」が79.7%。一方、「私立中学校」志向の保護者は「22歳」(大学卒業)が最大値を示し、46.0%である。さらに、職業別では「自営業」か「専業主婦」、子ども数では「1人」または「2人」の保護者に、「私立中学校」志向が多くみられる。

次に、現実には4月から子どもが進学する中学校をみてみよう。子どもが「校区内の公立中学校」へ進学する割合が高いのは、保護者

の学歴は「18歳(高校卒業)」、職業別では「パートタイム」、子ども数では「3人以上」である。一方、「私立中学校」へ進むのは、保護者の学歴は「22歳」(大学卒業)、職業別では「専業主婦」か「自営業」、そして子ども数は「1人」が多い。私立中学校への進学には時間的、経済的なゆとりがキーとなっている。昨今の日本の教育事情から考えれば当然のことかもしれない。

## 2 学校選択実現のために

「私立中学校」を選択した保護者は、進学先の決定に「とても+かなり悩んだ」が5割を超える。その実現のために「とても+かなり準備した」と答えた者も9割を超え、9割の保護者が「進学塾」に通わせている。「私立中学校」選択の保護者の精神的・時間的・経済的な負担の大きさがうかがえる。

今回の調査サンプルの保護者の子どもが進学する学校は、「校区内の公立中学校」63.1%、「校区外の公立中学校」11.5%、「私立中学校」25.4%であった(表2-1)。ここでは学校選択の実現に向けた保護者の行動を、子どもが進学する中学校別に比較した。

まず、子どもの学校選択決定までのプロセスからみてみよう。表2-2では「進学先の決定にどの程度、悩んだか」を示した。「私立中学校」の保護者は、「とても悩んだ」が21.1

%で、「かなり悩んだ」の33.1%を合わせると5割を超える者が学校選択での様々な悩みを抱えていることがわかる。一方、「校区内の公立中学校」の保護者は、「とても悩んだ」は3.2%にすぎず、逆に「まったく悩まなかった」(33.0%)に「あまり悩まなかった」(53.2%)を加えると、9割近くの保護者は学校選択での悩みとは無縁のようである。

次に、「小学校6年生の時、中学進学のための準備をしたか」をみてみよう(表2-3)。

◆表2-2 進学先決定の悩み × 進学する中学校

	(%)			
	とても悩んだ	かなり悩んだ	あまり悩まなかった	まったく悩まなかった
全体	8.3	17.8	49.0	24.9
校区内の公立中学校	3.2	10.6	53.2	33.0
校区外の公立中学校	7.8	21.9	51.6	18.8
私立中学校	21.1	33.1	38.0	7.7

◆表2-3 進学のための準備 × 進学する中学校

	(%)			
	とても準備した	かなり準備した	あまり準備しなかった	ぜんぜん準備しなかった
全体	12.9	16.5	40.1	30.4
校区内の公立中学校	0.9	5.4	51.6	42.2
校区外の公立中学校	3.2	16.1	48.4	32.3
私立中学校	47.2	44.4	7.7	0.7

「校区内の公立中学校」の保護者で「とても準備した」と答えた割合はわずか0.9%であり、「かなり準備した」の5.4%を合わせても6.3%と、ほとんど準備をしなかった様子がかがえる。「校区外の公立中学校」の保護者では、約2割が「とても十かなり準備した」と答えている。「私立中学校」の保護者では「とても準備した」(47.2%)と「かなり準備した」(44.4%)を合わせると、9割を超える保護者が学校選択実現を目指して準備をしている。その具体的な内容として、子どもが「小学6年生の時、塾に通ったか」を尋ねた

ところ、「私立中学校」の保護者の90.8%が「進学塾」に通わせ、週「4日以上」が65.2%にも達する。一方、「校区内の公立中学校」「校区外の公立中学校」の保護者はいずれも、塾に「通わなかった」との回答が7割を占めていた。また、通った者も「補習塾」が中心で、日数は週「2日」が圧倒的に多い(図表省略)。こうしてみると、「私立中学校」志向の保護者にとっては経済的・時間的な負担に加え、精神的な負担も大きいことがわかるだろう。

### 3 学校選択別の保護者の意識

**学校選択では、学校行事や学習の楽しさ、小学校生活の満足感、部活動の熱心さ、いじめ問題、学力の向上、生徒指導やしつけの厳しさ、モラルや道徳心の重視、5日制か6日制か、教師の資質等が重要となる。**

このような多大な負担を抱えながらも、学校選択をする思いを表2-4で追ってみた。表では、子どもが卒業する小学校への満足感と、進学する中学校との関連を示した。「校区内の公立中学校」の保護者は、卒業する小学校に「とても満足している」が21.4%で、「わりと満足している」を合わせると63.9%。「校区外の公立中学校」の保護者では「とても満足している」と「わりと満足している」を合わせて82.5%。「私立中学校」の保護者は「とても満足している」は17.7%と若干少ないが、「わりと満足している」を合わせると63.1%となる。

次に、小学校生活の楽しさを「とても楽しそう」の数値に着目してみよう(表2-5)。「校区外の公立中学校」の保護者は59.0%、「校区内の公立中学校」と「私立中学校」でもそれぞれ5割弱の保護者が、子どもの小学校生活は「とても楽しそう」だったと感じている。小学校への満足感や楽しさでは、「校区外の公立中学校」の保護者が若干

高い数値を示しているが、「校区内の公立中学校」や「私立中学校」の保護者との差はほとんどみられずおおむね満足している。ところが、小学校でのいじめの有無では、「私立中学校」の保護者の9.5%が「とてもあった」と答えており、「校区内の公立中学校」「校区外の公立中学校」の保護者(3~5%)との差が目を引く(表2-6)。しかし、「わりとあった」を合わせると「校区内の公立中学校」と「私立中学校」では約3割にも達し、小学校でのいじめが相変わらず深刻であることがわかる。

表2-7は、小学校生活全体を振り返っての意見を保護者に尋ねた結果である。「週5日制には疑問を感じた」という点については、進学する中学校にかかわらず、7割近くが「とても十わりとそうだった」と肯定しており、「週5日制」に不満を持っている保護者が多い。次に、進学する中学校によって違いが大きかった項目をみてみよう。ここでは「とても十わりとそうだった」の最大値と最

◆表 2-4 小学校の満足感 × 進学する中学校

(%)

	とても満足 している	わりと満足 している	少し満足 している	あまり満足 していない	ぜんぜん満足 していない
全 体	22.1	43.8	17.4	13.0	3.8
校区内の公立中学校	21.4	42.5	16.8	16.5	2.9
校区外の公立中学校	34.9	47.6	12.7	0.0	4.8
私立中学校	17.7	45.4	21.3	10.6	5.0

◆表 2-5 小学校生活の楽しさ × 進学する中学校

(%)

	とても 楽しそう	わりと 楽しそう	あまり楽し そうではない	ぜんぜん楽し そうではない
全 体	47.4	45.0	6.4	1.3
校区内の公立中学校	45.5	46.1	7.5	0.9
校区外の公立中学校	59.0	37.7	1.6	1.6
私立中学校	47.9	44.3	5.7	2.1

◆表 2-6 小学校でのいじめ × 進学する中学校

(%)

	とても あった	わりと あった	あまり なかった	ぜんぜん なかった
全 体	5.9	25.6	54.9	13.6
校区内の公立中学校	5.0	28.7	51.5	14.9
校区外の公立中学校	3.3	19.7	57.4	19.7
私立中学校	9.5	20.4	62.0	8.0

◆表 2-7 小学校生活を振り返って × 進学する中学校

(%)

	全体	校区内の 公立中学校	校区外の 公立中学校	私立中学校
学校行事が楽しそうだった	86.9 (36.1)	86.1 (35.5)	96.9 (55.6)	85.4 (29.2)
総合的な学習の時間が楽しそうだった	69.7 (16.3)	67.7 (15.1)	78.7 (24.6)	70.8 (16.1)
週5日制には疑問を感じた	66.4 (40.9)	65.9 (40.3)	65.1 (38.1)	68.6 (43.8)
子ども同士の学力差が目についた	56.0 (18.0)	51.6 (14.0)	41.9 (11.3)	73.7 (31.4)
学力向上のために塾などへ通った	42.7 (18.7)	26.0 ( 6.1)	23.8 ( 7.9)	92.1 (55.1)
基礎的な学力が定着しなかった	32.9 ( 5.5)	37.0 ( 6.9)	29.0 ( 4.8)	24.1 ( 2.2)
いじめ、不登校などの問題が多かった	22.8 ( 6.6)	21.8 ( 6.2)	17.5 ( 3.2)	28.5 ( 9.5)
宿題が多くて大変なようだった	10.6 ( 2.0)	11.6 ( 2.6)	12.7 ( 3.2)	6.6 ( 0.0)

「とても」＋「わりと」そうだった割合 ( ) は「とてもそうだった」割合

小値で10ポイント以上の差がみられた項目をあげる。「校区内の公立中学校」に進学させる保護者では「基礎的な学力が定着しなかった」が、「校区外の公立中学校」の保護者では「総合的な学習の時間が楽しそうだった」「学校行事が楽しそうだった」が、「私立中学校」の保護者では「学力向上のために塾などへ通った」「子ども同士の学力差が目についた」「いじめ、不登校などの問題が多かった」の各項目が、他の群よりも高い傾向がみられる。さらに、小学校で「次のような『力』が身についたと思うか」を尋ねると、「私立中学校」の保護者は「漢字の読み書きの力」(36.9%)、「計算力」(34.3%)、「読書量や読解力」(30.0%)、「自分の考えや意見を発表する力」(22.0%)、「文章表現力」(19.1%)が、「とても向上した」と答えた割合が他の群よりも高い(図表省略)。しかし、「私立中学校」の保護者は学力向上のために子どもを塾に通わせていることを考慮すれば、小学校で身についた力は塾に依存するところが大き

いことになるだろう。

表2-8で、中学教師に期待することをまとめた。進学する中学校にかかわらず、教師に望んでいることは「クラスをまとめるのが上手」が5~6割で最も高く、次に「モラルや道徳心を重視した指導」が4~5割となる。それに加えて「私立中学校」の保護者は「生活指導やしつけに厳しい」ことを期待する割合が高く、「校区外の公立中学校」の保護者は「部活動に熱心」なことを期待する割合が高い。

すなわち、学校選択で重視するポイントは、学校行事や学習の楽しさ、小学校生活の満足感、部活動の熱心さ、いじめ問題、学力の向上、生徒指導やしつけの厳しさ、モラルや道徳心の重視、5日制か6日制か、教師の資質等があげられる。さらに「私立中学校」では経済的・時間的なゆとりも必要となる。「校区内の公立中学校」の保護者は少し学校への関心が希薄に感じられる。

◆表2-8 中学教師への期待 × 進学する中学校

(%)

	全体	校区内の 公立中学校	校区外の 公立中学校	私立中学校
クラスをまとめるのが上手	56.8	① 55.0	① 54.0	① 62.1
モラルや道徳心を重視した指導	43.2	② 41.0	② 50.8	② 45.7
生活指導やしつけに厳しい	28.3	26.8	31.7	③ 30.9
部活動に熱心	26.5	③ 27.4	③ 38.1	19.6
望みの高校に入学させる	23.8	24.9	24.2	20.6
親の話や悩みを聞く	22.0	19.5	27.0	26.6
子どもの競争意識を養う	10.5	9.2	11.1	12.9
しつけや生活指導より学力を優先する	10.4	9.9	14.3	10.1

「とても期待する」割合  
①~③はそれぞれの中学校の中の順位

## 4 学校選択と教育観

学校選択は、保護者の学校への関心が高まり、保護者の意見が教育に反映されると評価される一方で、学校間格差が拡大し先生たちが自信喪失するなど、公教育への不安も指摘される。中学校教育に求めるものは、「校区外の公立中学校」志向の保護者は学習面だけでなく、心のケアやボランティア教育、部活動と多様な生徒のニーズに応えた中学生生活全体の充実を、「私立中学校」志向の保護者は、少人数制の授業や学力別編成などによる学力の向上や中高一貫教育を期待している。

保護者は学校選択をどのように評価しているのだろうか。表2-9によれば、「とても賛成」が24.5%、「やや賛成」が55.8%、「やや反対」が16.8%、「とても反対」が2.9%となっており、中学校選択制に賛成する者が8割となる。保護者の属性との関連をみると、学歴別では「22歳」（大学卒業）に、進学する中学校別では「校区外の公立中学校」の保護者に「とても賛成」の割合が高く、中学校選択制を積極的に支持している。

そこで、中学校選択が教育に与える影響についての意見を表2-10でみていこう。「学校教育に保護者の意見が反映されやすくなる」「公立中学校の落ち着きが失われる」と答えた保護者の割合は、学歴別ではほとんど差がみられない。保護者の意見が教育に反映され学校が活性化するという反面、公教育の将来に不安を抱くのは、保護者に共通する思いなのだろう。保護者の学歴による差をみると、最終学歴が「20歳」の保護者は「親の学

◆表2-9 中学校選択制についての賛否 × 学歴・進学する中学校

		（%）			
		とても賛成	やや賛成	やや反対	とても反対
	全体	24.5	55.8	16.8	2.9
学歴	18歳（高校卒業）	18.2	55.1	24.8	1.9
	20歳	25.6	62.5	10.0	1.9
	22歳	36.3	45.1	12.1	6.6
進学する中学校	校区内の公立中学校	19.0	56.8	20.7	3.5
	校区外の公立中学校	39.1	43.8	15.6	1.6
	私立中学校	31.4	58.6	7.9	2.1

◆表2-10 中学校選択の影響についての意見 × 学歴・進学する中学校

	（%）					
	18歳 （高校卒業）	20歳	22歳	校区内の 公立中学校	校区外の 公立中学校	私立 中学校
学校間の競争心が生まれ、学校の特色が出てくる	67.3 (17.3)	75.1 (24.2)	78.7 (27.0)	67.1 (18.5)	81.3 (34.4)	76.2 (19.4)
親の学校への関心が高まる	73.3 (20.2)	78.8 (20.0)	68.9 (15.6)	73.1 (18.2)	87.5 (29.7)	71.5 (13.1)
学校教育に保護者の意見が反映されやすくなる	45.8 ( 5.7)	51.0 ( 8.2)	51.1 ( 7.8)	48.7 ( 7.3)	46.9 ( 1.6)	48.9 ( 6.6)
親の選択によって、学校間格差が拡大する	65.7 (16.4)	63.5 (19.5)	79.7 (30.3)	62.3 (17.7)	73.5 (29.7)	75.0 (19.9)
先生たちが自信を失っているように見える	27.9 ( 5.7)	30.6 ( 8.1)	43.8 ( 9.0)	29.0 ( 8.4)	23.5 ( 9.4)	39.4 ( 6.6)
公立中学校の落ち着きが失われる	29.5 ( 4.7)	29.4 ( 6.9)	32.2 (12.2)	28.9 ( 6.6)	17.2 ( 6.3)	37.7 ( 6.5)

「とても」＋「わりと」そう思う割合  
（ ）は「とてもそう思う」割合

校への関心が高まる」が78.8%（「とても十わりとそう思う」の割合）と他の学歴の保護者よりも高く、中学校選択に期待している。また、学歴が「22歳」（大学卒業）の保護者は、「学校間の競争心が生まれ、学校の特色が出てくる」というプラスの評価をした割合が78.7%（「とても十わりとそう思う」の割合）で他の学歴の保護者より高い一方、「親の選択によって、学校間格差が拡大する」（79.7%）、「先生たちが自信を失っているように見える」（43.8%）という中学校選択による弊害についても、他の学歴群と比較し「そう思う」割合が高い。

進学する学校別では、「校区外の公立中学校」の保護者が「学校間の競争心が生まれ、学校の特色が出てくる」（81.3%）、「親の学校への関心が高まる」（87.5%）と中学校選択を高く評価する一方で、「私立中学校」の保護者は「親の選択によって、学校間格差が拡大する」（75.0%）、「先生たちが自信を失っているように見える」（39.4%）、「公立中学校の落ち着きが失われる」（37.7%）といった、中学校選択によるマイナス面を危惧する割合も他の進学先を選んだ保護者に比べて高い。「私立中学校」志向の保護者にとっては、学校選択制の有無にかかわらず中学校選択が可能であるが、「公立中学校」志向の保護者にとっては、学校選択制導入により中学校選択が可能になるので、この制度への期待の高さ

がうかがえる。

表2-11は、中学校選択する「親たちの判断をどう感じているか」を進学する中学校別に示したものである。「とても十わりとそう思う」の値をみると、「私立中学校」の保護者は、「親たちは学校のうわさに振り回されている」（65.9%）、「親たちは中学校選択に迷っている」（63.3%）と思いつながりながら、「親たちは賢く学校を選択しているように見える」（62.6%）とも判断している。「親たちは学校のうわさに振り回されている」と感じているのは、「校区内の公立中学校」の保護者にも多い（66.0%）。子どもたちの人間関係や生徒指導上の問題、学校規模、統廃合等の風評が地域内で伝わりやすいのだろう。

最後に表2-12で、中学校教育についての意見を進学する中学校と関連させてみていく。ここでは「とても賛成」の割合で、最小値より5ポイント以上大きい項目をあげてみよう。「校区外の公立中学校」の保護者は、「情報機器やコンピュータを利用した授業」（54.1%）、「スクールカウンセラーの導入」（49.2%）、「総合的な学習の時間」（27.9%）、「校区の拡大や中学校選択の自由」（34.4%）、「選択科目を増やす」（34.4%）、「ボランティア活動を重視した教育」（23.0%）、「地域の人の力を借りた授業」（21.7%）、「授業時間の長さの弾力化」（19.7%）、「部活動を社会体育に移行する」（13.1%）など、学習面だけ

◆表2-11 親たちの中学校選択への判断 × 進学する中学校

	全体	校区内の公立中学校	校区外の公立中学校	私立中学校
親たちは学校のうわさに振り回されている	65.1 (18.2)	66.0 (18.8)	57.9 (18.8)	65.9 (15.9)
親たちは中学校選択に迷っている	56.3 (13.1)	53.5 (11.4)	56.3 (21.9)	63.3 (12.9)
親たちは賢く学校を選択しているように見える	53.1 ( 4.2)	47.5 ( 4.4)	61.9 ( 4.8)	62.6 ( 2.9)

「とても」＋「わりと」そう思う割合  
( ) は「とてもそう思う」割合

でなく、心のケアやボランティア教育、部活動と多様な生徒のニーズに応えた中学生生活全体の充実を求めている。一方、「私立中学校」の保護者は、「複数担任制やクラスの少人数制」(56.1%)、「スクールカウンセラーの導入」(49.6%)、「環境教育の重視」(38.5%)、「保護者への評価基準の説明」(36.2%)、「中高一貫教育」(47.8%)、「教員の人事考課制度」(30.1%)、「学力別編成などの授業形態の多様化」(35.0%)など、少人数制の授業や学力別編成などによる学力の向上や中高一貫教育に期待している。

以上、保護者の属性との関連では、学歴、職業、子ども数によって、私立中学校か公立

中学校かに分かれ、経済的・時間的なゆとりがある保護者に「私立中学校」志向が強い。「私立中学校」志向の保護者は、中高一貫教育や少人数制、学力別学級編成などによる学力向上を重視し、子どもの将来への教育期待も高い。一方、「公立中学校」志向は、校区内と校区外の公立中学校に分かれる。学校選択制に強い期待を持っているのは「校区外の公立中学校」志向の保護者で、この学校選択制を利用して子どもの資質を伸ばせるよりよい教育環境を求めている。「校区内の公立中学校」志向の保護者は、既存の学区の中でのんびりした中学校生活を期待している。

◆表 2-12 中学校教育についての意見 × 進学する中学校

	(%)			
	全体	校区内の 公立中学校	校区外の 公立中学校	私立中学校
複数担任制やクラスの少人数制	50.8	50.4	39.3	<u>56.1</u>
情報機器やコンピュータを利用した授業	43.2	42.9	<u>54.1</u>	39.1
スクールカウンセラーの導入	42.6	38.3	49.2	<u>49.6</u>
環境教育の重視	36.6	37.0	27.9	<u>38.5</u>
保護者への評価基準の説明	29.9	27.5	27.9	<u>36.2</u>
中高一貫教育	25.9	18.2	20.0	<u>47.8</u>
教員の人事考課制度	25.8	24.3	25.0	<u>30.1</u>
総合的な学習の時間	24.4	25.9	<u>27.9</u>	19.7
学力別編成などの授業形態の多様化	24.3	20.1	23.3	<u>35.0</u>
校区の拡大や中学校選択の自由	21.9	18.1	<u>34.4</u>	25.4
選択科目を増やす	21.6	18.1	<u>34.4</u>	23.4
ボランティア活動を重視した教育	20.4	21.3	<u>23.0</u>	16.3
地域の人の力を借りた授業	18.1	20.1	<u>21.7</u>	11.8
民間出身の校長を採用する	15.3	15.4	11.7	15.9
授業時間の長さの弾力化	13.7	11.2	<u>19.7</u>	16.8
学校評議員制度の導入	7.8	7.1	11.5	8.0
部活動を社会体育に移行する	7.7	8.3	<u>13.1</u>	3.7

「とても賛成」の割合  
 \_\_\_\_\_ は最大値－最小値が5ポイント以上の項目での最大値

# 3 学校選択制のもとでの選択行動の現状

永井聖二

この章では、学校選択制が実施された地域における保護者の学校選択行動の現状を報告する。

学校選択制は何のための制度なのか。個人の選択をより広く許容する学校制度は私たちの希望するものであるし、市場主義的な教育改革の一環としてこの制度をみるならば、選択制によってもたらされる学校間の競争が、

公教育の質の向上をもたらすことが期待される。

しかし、教育の改革について検討する際に私たちに必要なのは、それが何をめざすとされているのかをそのまま受けとめることではなく、当初は意図されない結果を含めて現実になにがもたらされているかを明らかにすることから出発することではなからうか。

## 1 「いじめ」がないことが第一

「校区外の公立中学校」の選択基準として、「とても重視する」割合が高かったのは、「いじめや不登校の生徒が少ない」(45.5%) ことと、「生活指導やしつけがしっかりしている」(44.8%) こと。

今回の調査で、「校区外の公立中学校」を選択した保護者に対し、選択の際に重視したことは何かを尋ねてみると、「いじめや不登校の生徒が少ない」学校を選んだとした回答や「生活指導やしつけがしっかりしている」学校を選んだという回答をした保護者が目立って多い(表3-1)。

「いじめや不登校の生徒が少ない」ことを重視したとする回答は、「とても重視する」が45.5%、「わりと重視する」が42.1%で両者を合計すると87.6%、9割近くになる。「生活指導やしつけがしっかりしている」ことを重視した保護者も、「とても重視する」が44.8%、「わりと重視する」が39.3%でかなり多い。

いじめや生活指導に対する関心がきわめて高いことを示す結果であるが、これに次いで重視された基準は「自宅からの距離が最も近

い」「校舎がきれい」「よく掃除された清潔な施設」といった物理的な条件であり、それに部活動である。「とても重視する」と回答した者の割合でいうと、「いじめや不登校の生徒が少ない」の45.5%、「生活指導やしつけがしっかりしている」44.8%がとび抜けて多いが、「希望する部活動が熱心に活動している」(28.3%)、「服装・頭髪がきちんとしている」(27.8%)、「よく掃除された清潔な施設」(21.4%)、「校舎がきれい」(19.9%)などが次ぐ。

「学校がよい地域にある」(31.9%) ことや「小学校の仲のよい友だちが一緒である」(27.6%) ことも比較的重視されているが、これも生活指導やいじめが重視されている傾向と結びつけて理解することが妥当であろう。

◆表3-1 学校選択で重視したこと×学校

(%)

		全体	学校別										
			A校	B校	C校	D校	E校	F校	G校	H校	I校	J校	K校
自宅からの距離が最も近い	とても重視する	23.8	25.0	0.0	15.4	33.3	22.2	100.0	17.6	25.0	14.3	30.0	30.0
	わりと重視する	47.6	57.1	64.3	69.2	26.7	33.3	0.0	64.7	8.3	35.7	60.0	60.0
	あまり重視しない	25.9	10.7	35.7	15.4	40.0	44.4	0.0	17.6	58.3	42.9	10.0	10.0
	ぜんぜん重視しない	2.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	7.1	0.0	0.0
子どもに適した選択教科がある	とても重視する	13.3	25.9	7.1	7.7	14.3	0.0	0.0	6.3	25.0	14.3	10.0	10.0
	わりと重視する	39.9	44.4	50.0	53.8	42.9	22.2	25.0	43.8	33.3	28.6	30.0	40.0
	あまり重視しない	38.5	22.2	42.9	30.8	35.7	66.7	50.0	50.0	25.0	42.9	60.0	30.0
	ぜんぜん重視しない	8.4	7.4	0.0	7.7	7.1	11.1	25.0	0.0	16.7	14.3	0.0	20.0
国語、数学、英語などの学力が高い	とても重視する	15.3	18.5	28.6	7.7	14.3	0.0	0.0	11.8	16.7	14.3	20.0	20.0
	わりと重視する	36.1	40.7	42.9	46.2	21.4	44.4	50.0	35.3	50.0	21.4	20.0	30.0
	あまり重視しない	41.0	37.0	28.6	46.2	50.0	44.4	25.0	41.2	25.0	57.1	50.0	40.0
	ぜんぜん重視しない	7.6	3.7	0.0	0.0	14.3	11.1	25.0	11.8	8.3	7.1	10.0	10.0
放課後や夏休みなどに補習や学習会がある	とても重視する	9.8	17.9	0.0	15.4	7.1	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	10.0	10.0
	わりと重視する	39.2	39.3	61.5	46.2	35.7	33.3	25.0	25.0	46.2	30.8	50.0	30.0
	あまり重視しない	42.7	39.3	38.5	38.5	35.7	55.6	50.0	62.5	23.1	53.8	30.0	50.0
	ぜんぜん重視しない	8.4	3.6	0.0	0.0	21.4	11.1	25.0	12.5	15.4	0.0	10.0	10.0
少人数学級を実施している	とても重視する	8.3	7.1	0.0	8.3	0.0	0.0	25.0	17.6	23.1	7.1	0.0	10.0
	わりと重視する	40.0	46.4	71.4	41.7	42.9	22.2	25.0	41.2	30.8	42.9	10.0	30.0
	あまり重視しない	42.1	39.3	28.6	41.7	35.7	66.7	25.0	29.4	38.5	50.0	70.0	50.0
	ぜんぜん重視しない	9.7	7.1	0.0	8.3	21.4	11.1	25.0	11.8	7.7	0.0	20.0	10.0
宿題が多く出される	とても重視する	3.4	3.6	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	10.0	0.0
	わりと重視する	26.2	35.7	35.7	61.5	14.3	11.1	25.0	17.6	30.8	7.7	10.0	20.0
	あまり重視しない	57.2	50.0	64.3	30.8	64.3	77.8	50.0	70.6	61.5	46.2	50.0	70.0
	ぜんぜん重視しない	13.1	10.7	0.0	7.7	14.3	11.1	25.0	11.8	7.7	30.8	30.0	10.0
よく掃除された清潔な施設(トイレなど)	とても重視する	21.4	21.4	14.3	15.4	35.7	11.1	25.0	5.9	50.0	21.4	20.0	20.0
	わりと重視する	46.2	57.1	57.1	46.2	35.7	44.4	50.0	64.7	33.3	42.9	10.0	40.0
	あまり重視しない	25.5	17.9	28.6	30.8	21.4	33.3	25.0	23.5	8.3	28.6	50.0	30.0
	ぜんぜん重視しない	6.9	3.6	0.0	7.7	7.1	11.1	0.0	5.9	8.3	7.1	20.0	10.0
服装・頭髪がきちんとしている	とても重視する	27.8	25.0	21.4	23.1	28.6	44.4	25.0	31.3	25.0	35.7	30.0	20.0
	わりと重視する	52.8	53.6	64.3	69.2	28.6	44.4	50.0	62.5	58.3	42.9	40.0	60.0
	あまり重視しない	13.2	17.9	14.3	7.7	28.6	0.0	0.0	6.3	8.3	21.4	10.0	10.0
	ぜんぜん重視しない	6.3	3.6	0.0	0.0	14.3	11.1	25.0	0.0	8.3	0.0	20.0	10.0
いじめや不登校の生徒が少ない	とても重視する	45.5	39.3	57.1	38.5	53.3	66.7	75.0	35.3	66.7	28.6	33.3	40.0
	わりと重視する	42.1	46.4	35.7	46.2	40.0	33.3	0.0	58.8	16.7	64.3	44.4	30.0
	あまり重視しない	6.9	10.7	7.1	7.7	0.0	0.0	0.0	5.9	8.3	7.1	11.1	10.0
	ぜんぜん重視しない	5.5	3.6	0.0	7.7	6.7	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	11.1	20.0
学校がよい地域にある	とても重視する	31.9	18.5	35.7	30.8	50.0	66.7	75.0	18.8	46.2	14.3	30.0	20.0
	わりと重視する	55.6	74.1	57.1	30.8	28.6	33.3	25.0	81.3	46.2	78.6	50.0	50.0
	あまり重視しない	8.3	3.7	7.1	30.8	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	10.0	20.0
	ぜんぜん重視しない	4.2	3.7	0.0	7.7	7.1	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	10.0	10.0
希望する部活動が熱心に活動している	とても重視する	28.3	17.9	28.6	23.1	42.9	44.4	0.0	25.0	53.8	21.4	30.0	20.0
	わりと重視する	42.8	46.4	64.3	46.2	21.4	44.4	75.0	43.8	23.1	50.0	30.0	40.0
	あまり重視しない	22.8	28.6	7.1	23.1	28.6	0.0	25.0	31.3	15.4	21.4	30.0	30.0
	ぜんぜん重視しない	6.2	7.1	0.0	7.7	7.1	11.1	0.0	0.0	7.7	7.1	10.0	10.0
小学校の仲のよい友だちが一緒である	とても重視する	27.6	14.3	14.3	23.1	28.6	22.2	80.0	43.8	46.2	21.4	22.2	30.0
	わりと重視する	23.4	25.0	35.7	61.5	0.0	22.2	0.0	12.5	30.8	28.6	11.1	10.0
	あまり重視しない	33.8	35.7	42.9	15.4	35.7	55.6	0.0	31.3	15.4	35.7	44.4	50.0
	ぜんぜん重視しない	15.2	25.0	7.1	0.0	35.7	0.0	20.0	12.5	7.7	14.3	22.2	10.0
生活指導やしつけがしっかりしている	とても重視する	44.8	33.3	50.0	30.8	42.9	66.7	75.0	41.2	69.2	50.0	40.0	30.0
	わりと重視する	39.3	48.1	42.9	38.5	35.7	22.2	25.0	58.8	15.4	35.7	40.0	40.0
	あまり重視しない	10.3	14.8	7.1	30.8	7.1	0.0	0.0	0.0	7.7	7.1	10.0	20.0
	ぜんぜん重視しない	5.5	3.7	0.0	0.0	14.3	11.1	0.0	0.0	7.7	7.1	10.0	10.0
PTA活動が活発である	とても重視する	3.4	0.0	7.1	7.7	0.0	11.1	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
	わりと重視する	22.8	14.3	42.9	15.4	21.4	22.2	50.0	17.6	30.8	7.7	40.0	20.0
	あまり重視しない	55.2	78.6	35.7	61.5	42.9	55.6	0.0	52.9	46.2	69.2	50.0	50.0
	ぜんぜん重視しない	18.6	7.1	14.3	15.4	35.7	11.1	50.0	29.4	7.7	23.1	10.0	30.0
校舎がきれい	とても重視する	19.9	10.7	21.4	15.4	35.7	33.3	25.0	11.8	46.2	7.1	20.0	10.0
	わりと重視する	38.4	35.7	50.0	30.8	28.6	33.3	50.0	64.7	30.8	42.9	10.0	40.0
	あまり重視しない	36.3	46.4	28.6	46.2	28.6	33.3	25.0	17.6	15.4	50.0	60.0	40.0
	ぜんぜん重視しない	5.5	7.1	0.0	7.7	7.1	0.0	0.0	5.9	7.7	0.0	10.0	10.0

「校区外の公立中学校」を選択した保護者の回答

## 2 学力への関心は乏しい

「国語、数学、英語などの学力が高い」ことや「少人数学級を実施している」ことなど、「校区外の公立中学校」の選択基準として、学力形成にかかわることを「とても重視する」保護者は、1割前後にとどまる。

一方、これに対して見落とすことのできないのは、保護者たちの公立中学校選択の基準としては、学力形成に関することらがあげられることが少ないことである。

たとえば「国語、数学、英語などの学力が高い」中学校を選んだという保護者は、「とても重視する」者で15.3%でしかないし、「子どもに適した選択教科がある」ことを重視すると答えた保護者も「とても重視する」者は13.3%でしかない。先にあげたいじめや不登校にかかわる基準が「とても重視する」者の割合で5割近くに及んでいることと比較すると、対照的な傾向がみられる。

学校側がアピールしようと懸命なことの多い「少人数学級を実施している」ことを選択の基準とする回答も、「とても重視する」者は8.3%とかなり少ない。補習などがあるこ

とを評価する保護者も、同様に多くない。この結果は、すでに1章でみた私立中学校を受験した者の保護者の学校選択で「私立学校は学力をしっかりとつけてくれるから」との理由に「とてもそう」と回答した者が50.0%に及んでいることとは大きく異なる。

要約するならば、学力を重視する保護者は私立中学を選び、公立中学の選択制ではいじめや生活指導を基準として選択がなされるという実態が示されている。少し極端な言い方をすれば、学力重視の私立、生活指導面で選ばれる公立、選ばれにくい公立という3つのグループに分化した就学機会の構造が現実なのだといえることができよう。それが保護者の経済力や学歴といった要因と関連が深いとすれば、こうした現状に問題を感じないわけにはいかない結果である。

## 3 地域差をみると

「いじめ」や生活指導は、どの学校の保護者でも重視する基準である一方、自宅からの距離や地域性・校舎などの空間的条件では、学校ごとの違いが大きい。

この他に学校と自宅の距離やきれいな校舎など物理的な条件を選択の理由としてあげた保護者は、学力にかかわる基準よりは多いが、生活指導にかかわる基準よりは少ないという結果であった。「希望する部活動が熱心に活動している」という理由も「とても重視する」保護者が28.3%にとどまっており、予想したほどは多くなかったといえる。

もっとも、そうはいつてもそれぞれの公立中学校はそれなりに特徴ある教育をすすめ、それを保護者にアピールしようと努力してい

ることも当然ながら事実である。公立中学校全般への期待も、私立中学校進学率の高い地域と私立中学校進学率の低い地域ではちがいがあ

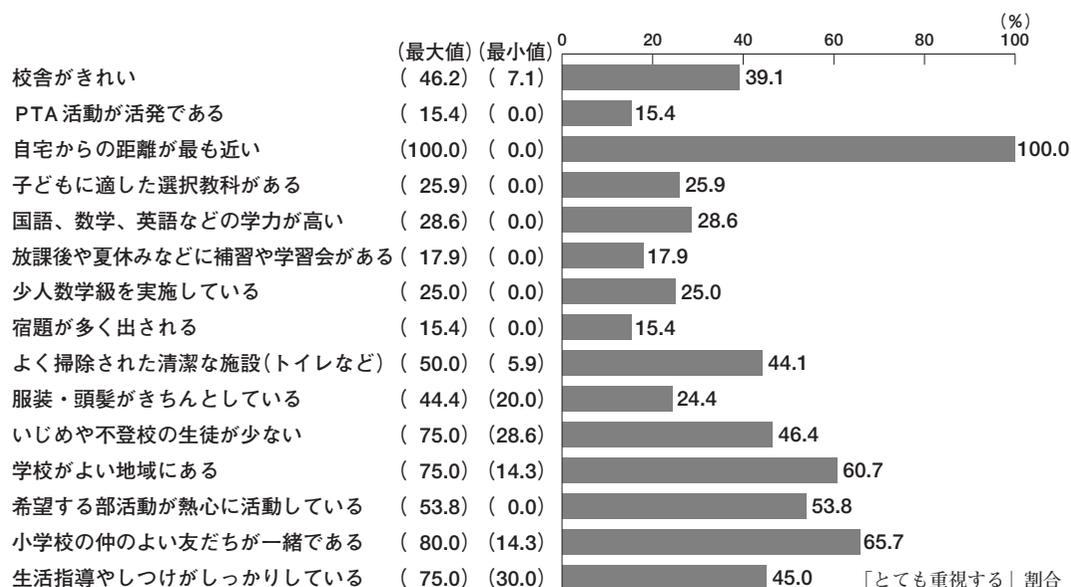
そのことをうかがい知るために、公立中学校選択の基準に関する今回の調査結果で学校ごとの差のレンジをみると、結果は図3-1に示すとおりになる。これは「とても重視する」のパーセンテージについて最大値の学校と最小値の学校の差を示したものであるが、これをみたとき、学校差が大きいのは自宅

からの距離や地域性、仲のよい友だちが行くことといった空間的条件にかかわる基準である。

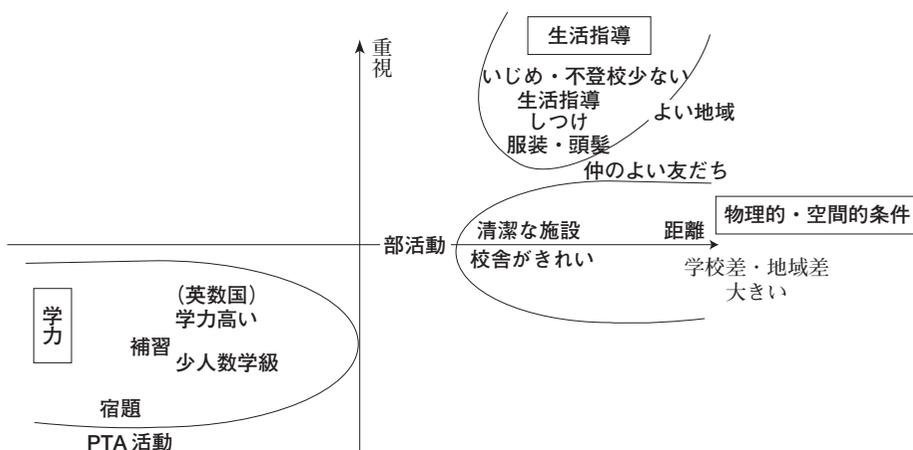
また、当然といえば当然であるが、次いで地域、学校によるデータのちらばりが大きいのは「校舎がきれい」「よく掃除された清潔な施設」といった物理的条件と生活指導にかかわる基準である。学力にかかわる選択の基

準は学校差も少なく、どの学校においても重視されていない。これを図で示したものは図3-2になるが、「いじめ」などの生活指導はどの学校の場合も重視される基準、距離や校舎などの空間的条件は学校差が大きい基準であり、そして学力や少人数学級などの学力にかかわる基準は概してどの学校でも重視されることは少ない基準である。

◆図3-1 学校差・地域差



◆図3-2 選択基準の構造



## 4 問われる選択制の意味

「親同士の情報交換・評判」「地域の評判や在校生の過ごし方」など、公立中学校の選択にあたっては、インフォーマルな情報が重視されている。

こうした保護者の公立選択行動を支える情報源について尋ねた結果が表3-2である。この表が示すとおり、「親同士の情報交換・評判」「地域の評判や在校生の過ごし方」といったインフォーマルな情報が重視されている。「学校や教育委員会の学校説明会」や「学校や教育委員会の配布資料」は地域や親の評判ほどではなく、その内容もインフォーマルな情報によって解釈され意味づけられるとみるのが妥当のようである。

「小学校の先生のアドバイス」と「塾のアドバイス」を参考にした保護者はいずれも7%前後でしかなく、塾の情報も私立中学校の選択の場合とは異なって重視されていないのが実状だし、小学校の教師のアドバイスの影響力も乏しいことが示されている。関連して、学校訪問をしたうえで進学する公立中学校を選んだ者は68.3%であり、学校訪問をしなかった保護者も31.7%であった。

以上、保護者の公立中学校選択の現状についてみてきた。まず明らかなのは、私立中学校の選択行動と公立中学校のそれはかなり様相を異にしており、公立中学校選択の自由化は、学力の向上をめざす意識とは別次元のところと位置づけられるということである。英数国の学力や少人数学級といった学力向上の取り組みについては重視される傾向にはない。各学校が特色ある教育をすすめる、それを保護者が選ぶことによって公立中学校の質的向上が進んでいく。こうした選択制の理念は、現実の保護者の選択行動をみる限り、かけ声だけのものとみざるをえない。

現実には保護者によって重視されているのは「いじめ」や生活指導にかかわる各中学校の状況である。「いじめ」を軸とした選択が可能なのは一定の意味が認められることでは

あるが、それは学校選択制の実施以前の時期や地域においても実態として保障されているものである。

今回の調査で私立中学校受験者の受験の理由が「私立学校は生活指導がしっかりしているから」が46.7%（「とてもそう」の割合）、「私立学校は学力をしっかりとつけてくれるから」が50.0%で両者のバランスがとれていることと比較すると、公立中学校選択者の学力への無関心ぶりは対照的である。ちなみに私立中学校受験者の受験理由で「私立学校はいじめや非行が少ないから」と回答した保護者はわずか16.9%にすぎないが、それは当然保障される条件として、ことさら重視すべき基準とはみなされてはならないことを反映した結果と理解するのが妥当であろう。

学校選択制の理念を現実のものとするためには、私立中学校を含めた後期中等教育の選択行動全体を検討する枠組みのもとでこの制度が現実にはどのような意味をもっているかを明らかにすることを出発点としたうえで、各学校の教育活動の自律性を保障しうる条件整備をすすめることがぜひ必要なことであろう。それなくしてこの制度は、自由化が質的向上をもたらすはずとの幻想をふりまく一方で、現実には格差の再生産をもたらすものとなることが危惧される。学校選択制のもとの保護者の選択行動の現実、今日の教育改革の光と影の両面を照らしだす一典型といえることができるように思われる。

◆表3-2 中学校選択で重視した情報 (%)

親同士の情報交換・評判	25.4
地域の評判や在校生の過ごし方	24.6
学校や教育委員会の学校説明会	18.1
学校や教育委員会の配布資料	12.9
小学校の先生のアドバイス	7.6
塾のアドバイス	6.5

「とても役立った」割合

## 4

## 学校側からみた学校選択制

深谷野亜

公立中学校において、学区を越えて学校を選べる学校選択制が一部の地域で導入されている。2004年度、東京では、23区中18区で実施されている制度である。この学校選択制は、学校間の競争をもたらし、公立学校の個性化につながるとして導入されたものである。しかし、学校の個性化を打ち出さうような学校の権限強化がない状態での学校選択制は、どのような影響をもたらしたのだろうか。

2004年8月に、今回の質問紙調査を実施した小学校から4校を選び出し、各小学校の校長先生に対して、それぞれ1時間程度、聞き取り調査を実施した。その聞き取り調査から浮かび上がってきた学校選択に関するいくつかのポイントを整理してみよう。

### 1. 学校がある地域によって左右される

交通の便がいいかどうか、近くに繁華街がないか、近くに他の学校はないか、といったことが影響しているようである。例えば小学校選択のケースになるが、歴史のある伝統校と新しい校舎を建てた小学校という外部からも人が集まりやすい学校にはさまれている小学校は、地元の子どもしか来ないため、募集枠が埋まらない、という話を聞いた。

### 2. うわさ・口コミは一定の影響をもたらす

どの中学校を選ぶかについて、うわさは一定の影響を与えている、という。しかし、そのうわさは必ずしも現在の学校状況を反映しているわけではないようである。一時荒れていたが、今では立ち直り、何の問題もない中学校であったとしても、そのネガティブな評価だけが残り、現在はいい学校であったとしても、進学希望が増えない、という。

逆に小学校を選択するケースの話だが、ある小学校では、学校のそばに有名進学塾があり、その塾に通う子どもが多い。その結果、有名中学校に進学が決まりやすい。新聞の折り込み広告で、塾の広告をよく見かけるが、宣伝の手法として、有名中学校合格者数や体験談がよく載せてある。その体験談では、出身小学校を載せているため、その塾についてのPRが結果的にその小学校のPRになっているのである。

塾で勉強をする→有名中学校合格者が生まれる→その実績を折り込み広告で見て、教育熱心な保護者がある小学校を選択する→保護者は塾にも通わせる→塾で勉強する……という状況を生み出すのである。

### 3. 保護者は学校の個性化にはあまり興味がない

学校説明会を開いても、参加した保護者からの活発な質問はあまり見られず、その学校の特色についての関心は低いという。来校した保護者は、説明を聞いて主体的に選択をするというよりも、あらかじめ選択した中学校について荒れていないか、いじめがないかなどを再確認するために参加しているように見受けられるという。保護者が一番何を重視しているかといえば、個性的な教育をしているかということよりは、むしろ学校内においていじめがないか、学級崩壊していないか、学校の施設が新しいか、PCがたくさんあるかなど、学習環境についてである、という。

また学校側の立場から、今の状況の中で学校の特徴を打ち出すのは難しい、ということも聞いた。行動としては教育の個性化につな

がるような政策をとるものの、実際には画一化されたルールに沿って動くしか、学校には選択の余地がないのである。ポイントとしては以下の4つである。

### 1. 配置される教員の指名ができない

総合的な学習の時間などを利用して特色ある学校づくりを目指すには、その学校の教育理念を理解しそれを教育現場で活かす教師が必要である。しかし現在は、学校側から特定の教員を指名することができず、特色ある授業作りが難しい。

### 2. 生徒の選抜ができない

人気が集中し定員オーバーとなった場合でも、入学試験を実施するなど生徒を選抜することはできないのである。そのため、進学校としての特色を持った学校づくり、というのは人為的にはできないのである。

### 3. 学校の自由となる資金が少ない

区によっては、冷房完備の学校もある。冷暖房完備とPCの台数などによって人気に差がでるようだが、学校独自でそうした設備を

そろえることはできない。自分の学校がどういう方針を持った区に属しているかによって決まるのである。

### 4. 授業時間／学習内容が決められている

個性を打ち出すための方策としては、学校行事の活性化を考えることができる。しかし各教科に必要な時間・消化すべき学習という大枠はかわらないまま、学校行事を活性化させるとどこかにしわ寄せがくるため、行事に力を入れることができないのである。

このような要因から、現段階では学校の自助努力で特色のある学校づくりをすることは難しい。そうした中での学校選択制の導入は、あらかじめその学校が置かれている状況によって人気が大きく左右されている。学校自体の自由裁量を増やさない限り、学校選択制導入は教育の活性化・学校の個性化につながるようなものではないのではないだろうか。このようなことを校長先生方の話をうかがっていて強く感じた。

## モノグラフ・中学生の世界 Vol.79 保護者の学校選択 調査概要

- 調査テーマ：学校選択制についての保護者の意識と選択の実態
- 調査時期：2004年2月～3月
- 調査方法：学校通しの質問紙による自記式調査
- 調査対象：中学校の学校選択制を実施している東京（2つの区）の公立小学校6年生の保護者、561名
- 調査内容：進学する中学校の種類／中学進学の悩み・準備／中学校選択制についての意見・賛否／中学校選択での親たちの判断／中学校選択の情報源／中学校訪問の機会・感じたこと／私立学校受験の検討開始時期・選択理由／私立学校の費用負担感／中学教育への意見／中学教師への期待／中学校の行事の必要性／校区外の公立中学校選択の検討開始時期／子どもの小学校生活・満足度／小学校時代に子どもについて「力」／中学校選択で重視したこと／中学校選択で役立った情報／ほか

## 調査票見本

---

本調査票の無断使用を禁じます。

保護者の方へ

# アンケートのお願い

東京では、お子さんの入学する学校を選択できる「学校選択制」が広まっています。そこでご家庭の方が、「学校選択制」をどうお考えになっているのかを知りたくて、このアンケートを作成しました。お答えいただいたことをご迷惑をおかけすることはありませんので、ご自由にお答えください。調査結果は統計的に処理し、社会的に役立てていきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

2004年2月

東京成徳大学教授  
深谷昌志

．お子さんの中学進学について、お聞きします。

1 あなたは、昨年の今頃、お子さんの中学進学について、どのように考えましたか。

- 1．校区内の公立中学校を希望
- 2．校区外の公立中学校を希望
- 3．私立中学校を希望
- 4．国立大学附属中学校を希望

2 あなたは、お子さんの中学進学について、進学先の決定にどの程度、悩みましたか。

とても 悩んだ	かなり 悩んだ	あまり 悩まなかった	まったく 悩まなかった
1	2	3	4

3 お子さんが小学6年生の時、中学進学のための準備をしましたか。

とても 準備した	かなり 準備した	あまり 準備しなかった	ぜんぜん 準備しなかった
1	2	3	4

4 お子さんは、小学6年生の時、塾に通いましたか。

進学塾へ 通った	補習塾へ 通った	通わなかった
1	2	3

5 お子さんは、塾に週に何日くらい、通いましたか。

週に 1日	2日	3日	4日以上	通って いない
1	2	3	4.....	5

6 お子さんが、この4月から通う学校は、どんな中学校ですか。

校区内の 公立中学校	校区外の 公立中学校	私立中学校	国立大学 附属中学校
1	2	3	4

・お子さんが私立学校を受験した方は、お答えください。  
 (私立学校を受けなかった方は、次ページの からお答えください)

7 私立学校を受験をいつ頃考えましたか。

1. 小学低学年から      2. 中学年から      3. 5年生から      4. 6年生になって

8 どうして私立学校を選びましたか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 私立学校がのびのびしているから.....	1	2	3	4
2. 私立学校は系列の大学進学ができるから.....	1	2	3	4
3. 私立学校は学力をしっかりとつけてくれるから...	1	2	3	4
4. 私立学校は生徒指導がしっかりしているから...	1	2	3	4
5. 私立学校は伝統があるから.....	1	2	3	4
6. 私立学校はいじめや非行が少ないから.....	1	2	3	4
7. 私立学校は部活動がさかんだから.....	1	2	3	4
8. 私立学校はよい家庭の生徒が多いから.....	1	2	3	4
9. 私立学校は土曜日に授業をしてくれるから.....	1	2	3	4

9 私立学校は公立学校より費用がかかります。費用負担をどう感じていましたか。

とても 大変	かなり 大変	やや 大変	大変でない
1	2	3	4

10 私立学校を受験結果はどうでしたか。

- 1) 受験した私立校数..... (      )校
- 2) 合格した私立校数..... (      )校
- 3) 私立学校に進学しますか... ( 1. 進学する      2. 進学しない)

11 進学する私立学校に満足していますか。

とても満足	かなり満足	あまり満足でない	まったく不満	私立学校に進学しない
1	2	3	4	5

ここからは、進学先として、校区外の中学校を選択した方がお答えください。  
 (校区内の中学校、私立中学校、国立大学附属中学校へ進んだ方は、7ページの からお答えください)

12 あなたは、いつ頃から中学校選択を考えていましたか。

小学5年生以前	6年生の初め	6年生の5、6月	6年生の夏休み	夏休み以降
1	2	3	4	5

13 あなたは、お子さんの中学校選択をするとき、どこからどのような情報を得ましたか。  
あてはまるものにすべてをつけてください。

1. 中学校主催の学校説明会に参加した
2. 区や教育委員会主催の説明会に参加した
3. 中学校で配布される資料を読んだ
4. 区や教育委員会の資料を読んだ
5. インターネットのホームページを見た
6. 希望する中学校の卒業生やPTA役員に話を聞いた
7. その他 ( )

14 あなたは、お子さんの中学校選択をするとき、直接、中学校を訪問しましたか。

1. 訪問した    2. 訪問しなかった → 6ページの 15 に進んでください。



1) 訪問した中学校は、全部で何校でしたか。

1校	2校	3校	4校	5校	6校以上
1	2	3	4	5	6

2) あなたが中学校を訪問したのは、どのような時でしたか。

あてはまるものにすべてをつけてください。

1. 学校説明会に参加した
2. 公開授業期間に授業を参観した
3. 平日に、学校を案内してもらい先生から話を聞いた
4. 平日の放課後、部活動を見に行った
5. 平日の放課後、中学生に話を聞きに行った
6. 合唱祭や体育祭など行事を見に行った
7. その他 ( )

3) 中学校を訪問して、次のようなことをどう思われましたか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 通学距離や時間を知ることができた.....	1	2	3	4
2. 学習する内容について理解が深まった.....	1	2	3	4
3. 教育課程を工夫していることがわかった.....	1	2	3	4
4. 生徒の学校生活の様子がわかった.....	1	2	3	4
5. 高校進学への指導と対策が充実していると感じた...	1	2	3	4
6. 親の教育期待と学校の方針にギャップを感じた.....	1	2	3	4
7. 資料に記載された学校の特色が教師や生徒に 伝わっていない印象を受けた.....	1	2	3	4
8. 部活動をよく知ることができた.....	1	2	3	4
9. 先生方の雰囲気や態度を実感できた.....	1	2	3	4
10. 学校は閉鎖的だと感じた.....	1	2	3	4

15 お子さんの中学校選択をするときに、次のようなことをどの程度大事に考えましたか。

	とても重視する	わりと重視する	あまり重視しない	ぜんぜん重視しない
1. 自宅からの距離が最も近い.....	1	2	3	4
2. 子どもに適した選択教科がある.....	1	2	3	4
3. 国語、数学、英語などの学力が高い.....	1	2	3	4
4. 放課後や夏休みなどに補習や学習会がある.....	1	2	3	4
5. 少人数学級を実施している.....	1	2	3	4
6. 宿題が多く出される.....	1	2	3	4
7. よく掃除された清潔な施設（トイレなど）.....	1	2	3	4
8. 服装・髪髪がきちんとしている.....	1	2	3	4
9. いじめや不登校の生徒が少ない.....	1	2	3	4
10. 学校がよい地域にある.....	1	2	3	4
11. 希望する部活動が熱心に活動している.....	1	2	3	4
12. 小学校の仲のよい友だちが一緒である.....	1	2	3	4
13. 生活指導やしつけがしっかりしている.....	1	2	3	4
14. P T A活動が活発である.....	1	2	3	4
15. 校舎がきれい.....	1	2	3	4

16 お子さんの中学校選択をするときに、次のようなことはどれくらい役に立ちましたか。

	とても役立った	わりと役立った	あまり役立たない	まったく役立たない
1. 学校や教育委員会の学校説明会.....	1	2	3	4
2. 学校や教育委員会の配布資料.....	1	2	3	4
3. 小学校の先生のアドバイス.....	1	2	3	4
4. 塾のアドバイス.....	1	2	3	4
5. 親同士の情報交換・評判.....	1	2	3	4
6. 地域の評判や在校生の過ごし方.....	1	2	3	4

17 あなたは、現在の中学校選択に自信を持っていますか。

とても 自信がある	わりと 自信がある	あまり 自信がない	ぜんぜん 自信がない
1	2	3	4

．ここからは全員の方がお答えください。

18 あなたは、中学校選択についての次のような意見をどう思いますか。

	とても そう思う	わりと そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
1．学校間の競争心が生まれ、学校の特色が出てくる.....	1	2	3	4
2．親の選択によって、学校間格差が拡大する.....	1	2	3	4
3．公立中学校の落ち着きが失われる.....	1	2	3	4
4．学校教育に保護者の意見が反映されやすくなる.....	1	2	3	4
5．先生たちが自信を失っているように見える.....	1	2	3	4
6．親の学校への関心が高まる.....	1	2	3	4

19 中学校選択にあたって、親たちの判断をどう感じていますか。

	とても そう思う	わりと そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
1．親たちは中学校選択に迷っている.....	1	2	3	4
2．親たちは学校のうわさに振り回されている.....	1	2	3	4
3．親たちは賢く学校を選択しているように見える.....	1	2	3	4

20 あなたは、中学校選択という制度に賛成ですか、反対ですか。

とても賛成	やや賛成	やや反対	とても反対
1	2	3	4

・現在の学校教育について、お聞きします。

21 お子さんの小学校生活を振り返って、次のようなことをどう思いますか。

	とても そうだった	わりと そうだった	あまりそう でなかった	ぜんぜんそう でなかった
1. 基礎的な学力が定着しなかった.....	1	2	3	4
2. 学力向上のために塾などへ通った.....	1	2	3	4
3. 総合的な学習の時間が楽しそうだった .....	1	2	3	4
4. 学校行事が楽しそうだった.....	1	2	3	4
5. 宿題が多くて大変なようだった.....	1	2	3	4
6. 子ども同士の学力差が目についた.....	1	2	3	4
7. 週5日制には疑問を感じた.....	1	2	3	4
8. いじめ、不登校などの問題が多かった.....	1	2	3	4

22 あなたは、小学校卒業直前のお子さんをご覧になって、次のような『力』が身についたと思いますか。

	とても 向上した	かなり 向上した	あまり身に ついていない	ぜんぜん身に ついていない
1. 計算力.....	1	2	3	4
2. 読書量や読解力.....	1	2	3	4
3. 漢字の読み書きの力.....	1	2	3	4
4. 文章表現力.....	1	2	3	4
5. 自分の考えや意見を発表する力.....	1	2	3	4
6. 基礎的な運動能力.....	1	2	3	4
7. 創造力やいろいろ工夫する力.....	1	2	3	4
8. 他人を思いやる気持ちややさしさ.....	1	2	3	4
9. 問題解決能力.....	1	2	3	4
10. モラルや一般常識.....	1	2	3	4

23 あなたは、お子さんが卒業する小学校に、満足していますか。

とても満足 している	わりと満足 している	少し満足 している	あまり 満足していない	ぜんぜん 満足していない
1	2	3	4	5

24 あなたは、次のような中学校の行事を必要と思いますか。

	とても 必要	どちらかといえば 必要	どちらかといえば 必要でない	必要でない
1. 入学式や卒業式.....	1	2	3	4
2. 始業式や終業式.....	1	2	3	4
3. 運動会.....	1	2	3	4
4. 文化祭.....	1	2	3	4
5. 修学旅行.....	1	2	3	4
6. 遠足.....	1	2	3	4
7. マラソン大会.....	1	2	3	4
8. 水泳大会.....	1	2	3	4
9. 合唱祭や音楽会.....	1	2	3	4
10. 中間考査や期末考査.....	1	2	3	4
11. 保護者面談.....	1	2	3	4
12. 家庭訪問.....	1	2	3	4

25 あなたは、中学教師に次のようなことを期待していますか。

	とても 期待する	わりと 期待する	あまり 期待しない	ぜんぜん 期待しない
1. クラスをまとめるのが上手.....	1	2	3	4
2. 子どもの競争意識を養う.....	1	2	3	4
3. しつけや生活指導より学力を優先する.....	1	2	3	4
4. 望みの高校に入学させる.....	1	2	3	4
5. 生活指導やしつけに厳しい.....	1	2	3	4
6. 部活動に熱心.....	1	2	3	4
7. 親の話や悩みを聞く.....	1	2	3	4
8. モラルや道徳心を重視した指導.....	1	2	3	4



29 この調査票を持ち帰られたお子さんについてお聞きします。  
 お子さんをどこまで進学させたいですか。

中学校	高校	短大	専門・ 専修学校	4年制大学	大学院	その他
1	2	3	4	5	6	7

30 お子さんは、小学校に行くのが楽しそうでしたか。

とても 楽しそう	わりと 楽しそう	あまり 楽しそうではない	ぜんぜん 楽しそうではない
1	2	3	4

31 お子さんの小学校では、いじめがありましたか。

とても あった	わりと あった	あまり なかった	ぜんぜん なかった
1	2	3	4

32 あなたは、次のような小学校の行事に参加していましたか。

	とてもよく 参加した	わりと 参加した	あまり 参加しなかった	まったく 参加しなかった
1. 授業参観.....	1	2	3	4
2. 学級懇談会（保護者会）.....	1	2	3	4
3. 担任の先生との個人面談.....	1	2	3	4
4. 運動会.....	1	2	3	4
5. 文化祭（学芸会など）.....	1	2	3	4

33 あなたは、PTAの役員をしたことがありますか。

1. まったくない                      2. 学級の役員をやった  
 3. 学校の役員をやった              4. 学級・学校両方の役員をやった

34 最後にプライベートなことをお聞きします。よろしかったら、お教えてください。

1) 最終学校を卒業した年齢

15歳	18歳（高校卒業）	20歳	22歳	それ以上
1	2	3	4	5

2) あなたの職業は何ですか。

1. フルタイム      2. パートタイム      3. 自営業  
 4. 専業主婦      5. その他（                      ）

～これで終わりです。長い間どうもありがとうございました。～

## ■基礎集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目		全体		
サンプル数		561		
1	昨年の今頃、子どもの中学進学について、どのように考えたか	1. 校区内の公立中学校を希望	62.5	
		2. 校区外の公立中学校を希望	10.7	
		3. 私立中学校を希望	25.9	
		4. 国立大学附属中学校を希望	0.9	
2	子どもの中学進学について、進学先の決定にどの程度、悩んだか	1. とても悩んだ	8.3	
		2. かなり悩んだ	17.8	
		3. あまり悩まなかった	49.0	
		4. まったく悩まなかった	24.9	
3	子どもが小学6年生の時、中学進学のための準備をしたか	1. とても準備した	12.9	
		2. かなり準備した	16.5	
		3. あまり準備しなかった	40.1	
		4. ぜんぜん準備しなかった	30.4	
4	子どもは、小学6年生の時、塾に通ったか	1. 進学塾へ通った	26.6	
		2. 補習塾へ通った	18.5	
		3. 通わなかった	54.9	
5	子どもは、塾に週に何日くらい、通ったか	1. 週に1日	4.9	
		2. 2日	13.6	
		3. 3日	11.3	
		4. 4日以上	17.9	
		5. 通っていない	52.3	
6	子どもが、この4月から通う学校は、どんな中学校か	1. 校区内の公立中学校	63.1	
		2. 校区外の公立中学校	11.5	
		3. 私立中学校	25.4	
		4. 国立大学附属中学校	0.0	
7	私立学校の受験をいつ頃考えたか 【子どもが私立中学校を受験した人】	1. 小学低学年から	30.9	
		2. 中学年から	32.9	
		3. 5年生から	27.0	
		4. 6年生になって	9.2	
8	【子どもがして立私立学校を受験した人】	私立学校がのびのびしているから	1. とてもそう	17.4
			2. わりとそう	53.0
			3. あまりそうでない	25.5
			4. ぜんぜんそうでない	4.0
		私立学校は系列の大学進学ができるから	1. とてもそう	20.4
			2. わりとそう	36.7
			3. あまりそうでない	23.1
			4. ぜんぜんそうでない	19.7
		私立学校は学力をしっかりとつけてくれるから	1. とてもそう	50.0
			2. わりとそう	47.3
			3. あまりそうでない	2.7
			4. ぜんぜんそうでない	0.0
		私立学校は生徒指導がしっかりしているから	1. とてもそう	46.7
			2. わりとそう	50.0
			3. あまりそうでない	3.3
			4. ぜんぜんそうでない	0.0
		私立学校は伝統があるから	1. とてもそう	31.1
			2. わりとそう	41.9
			3. あまりそうでない	23.6
			4. ぜんぜんそうでない	3.4

質問項目			全体	
8	【子どもがして私立学校を受験した人】	私立学校はいじめや非行が少ないから	1. とてもそう	16.9
			2. わりとそう	57.4
			3. あまりそうでない	23.0
			4. ぜんぜんそうでない	2.7
		私立学校は部活動がさかんだから	1. とてもそう	20.1
			2. わりとそう	52.3
			3. あまりそうでない	24.2
			4. ぜんぜんそうでない	3.4
		私立学校はよい家庭の生徒が多いから	1. とてもそう	9.4
			2. わりとそう	60.4
			3. あまりそうでない	25.5
			4. ぜんぜんそうでない	4.7
		私立学校は土曜日に授業をしてくれるから	1. とてもそう	28.7
			2. わりとそう	36.0
			3. あまりそうでない	26.7
			4. ぜんぜんそうでない	8.7
9	私立学校は公立学校より費用がかかるが、費用負担をどう感じていたか【子どもが私立中学校を受験した人】		1. とても大変	14.7
			2. かなり大変	32.7
			3. やや大変	44.0
			4. 大変でない	8.7
10	私立学校の受験結果はどうだったか【子どもが私立中学校を受験した人】	受験した私立校数	1校	12.3
			2校	19.9
			3校	26.0
			4校	26.0
			5校	9.6
			6校	4.1
			7校以上	2.1
		合格した私立校数	1校	41.7
			2校	27.1
			3校	20.8
			4校	6.9
			5校	2.8
			6校	0.7
			7校以上	0.0
私立学校に進学しますか		1. 進学する	94.0	
		2. 進学しない	6.0	
11	進学する私立学校に満足しているか【子どもが私立中学校を受験した人】		1. とても満足	32.0
			2. かなり満足	54.9
			3. あまり満足でない	8.5
			4. まったく不満	0.0
			5. 私立学校に進学しない	4.6
12	いつ頃から中学校選択を考えていたか【進学先として、校区外の中学校を選択した人】	1. 小学5年生以前	30.3	
		2. 6年生の初め	25.2	
		3. 6年生の5、6月	10.1	
		4. 6年生の夏休み	11.8	
		5. 夏休み以降	22.7	
13	子どもの中学校選択をするとき、どこからどのような情報を得たか【進学先として、校区外の中学校を選択した人】	1. 中学校主催の学校説明会に参加した	61.1	
		2. 区や教育委員会主催の説明会に参加した	3.8	
		3. 中学校で配布される資料を読んだ	54.2	
		4. 区や教育委員会の資料を読んだ	16.0	
		5. インターネットのホームページを見た	22.9	
		6. 希望する中学校の卒業生やPTA役員に話を聞いた	27.5	
		7. その他	19.8	

質問項目		全体	
14	子どもの中学校選択をするとき、直接、中学校を訪問したか 【進学先として、校区外の中学校を選択した人】	1. 訪問した	68.3
		2. 訪問しなかった	31.7
	1) 訪問した中学校は、全部で何校だったか	1. 1校	43.4
		2. 2校	30.1
		3. 3校	7.2
		4. 4校	8.4
		5. 5校	4.8
		6. 6校以上	6.0
	2) 中学校を訪問したのは、どのような時だったか (複数回答)	1. 学校説明会に参加した	88.8
		2. 公開授業期間に授業を参観した	32.7
3. 平日に、学校を案内してもらい先生から話を聞いた		6.1	
4. 平日の放課後、部活動を見に行った		14.3	
5. 平日の放課後、中学生に話を聞きに行った		2.0	
6. 合唱祭や体育祭など行事を見に行った		18.4	
7. その他		2.0	
「訪問した」と回答した人	通学距離や時間を知ることができた	1. とてもそう	54.8
		2. わりとそう	35.7
		3. あまりそうでない	4.8
		4. ぜんぜんそうでない	4.8
	学習する内容について理解が深まった	1. とてもそう	13.4
		2. わりとそう	51.2
		3. あまりそうでない	26.8
		4. ぜんぜんそうでない	8.5
	教育課程を工夫していることがわかった	1. とてもそう	19.5
		2. わりとそう	53.7
		3. あまりそうでない	22.0
		4. ぜんぜんそうでない	4.9
	生徒の学校生活の様子がわかった	1. とてもそう	24.4
		2. わりとそう	51.2
		3. あまりそうでない	20.7
		4. ぜんぜんそうでない	3.7
	高校進学への指導と対策が充実していると感じた	1. とてもそう	13.4
		2. わりとそう	43.9
		3. あまりそうでない	32.9
		4. ぜんぜんそうでない	9.8
	親の教育期待と学校の方針にギャップを感じた	1. とてもそう	4.9
		2. わりとそう	9.8
		3. あまりそうでない	74.4
		4. ぜんぜんそうでない	11.0
	資料に記載された学校の特色が教師や生徒に伝わっていない印象を受けた	1. とてもそう	4.9
		2. わりとそう	18.5
		3. あまりそうでない	59.3
		4. ぜんぜんそうでない	17.3
部活動をよく知ることができた	1. とてもそう	15.5	
	2. わりとそう	41.7	
	3. あまりそうでない	36.9	
	4. ぜんぜんそうでない	6.0	
先生方の雰囲気や態度を実感できた	1. とてもそう	24.1	
	2. わりとそう	60.2	
	3. あまりそうでない	13.3	
	4. ぜんぜんそうでない	2.4	
学校は閉鎖的だと感じた	1. とてもそう	0.0	
	2. わりとそう	14.6	
	3. あまりそうでない	57.3	
	4. ぜんぜんそうでない	28.0	

質問項目		全体	
15	子どもの中学校選択をするときに、次のようなことをどの程度大事に考えたか 【進学先として、校区外の中学校を選択した人】	自宅からの距離が最も近い	1. とても重視する 23.8
		2. わりと重視する 47.6	
		3. あまり重視しない 25.9	
		4. ぜんぜん重視しない 2.7	
		子どもに適した選択教科がある	1. とても重視する 13.3
		2. わりと重視する 39.9	
		3. あまり重視しない 38.5	
		4. ぜんぜん重視しない 8.4	
		国語、数学、英語などの学力が高い	1. とても重視する 15.3
		2. わりと重視する 36.1	
		3. あまり重視しない 41.0	
		4. ぜんぜん重視しない 7.6	
		放課後や夏休みなどに補習や学習会がある	1. とても重視する 9.8
		2. わりと重視する 39.2	
		3. あまり重視しない 42.7	
		4. ぜんぜん重視しない 8.4	
少人数学級を実施している	1. とても重視する 8.3		
2. わりと重視する 40.0			
3. あまり重視しない 42.1			
4. ぜんぜん重視しない 9.7			
宿題が多く出される	1. とても重視する 3.4		
2. わりと重視する 26.2			
3. あまり重視しない 57.2			
4. ぜんぜん重視しない 13.1			
よく掃除された清潔な施設(トイレなど)	1. とても重視する 21.4		
2. わりと重視する 46.2			
3. あまり重視しない 25.5			
4. ぜんぜん重視しない 6.9			
服装・頭髪がきちんとしている	1. とても重視する 27.8		
2. わりと重視する 52.8			
3. あまり重視しない 13.2			
4. ぜんぜん重視しない 6.3			
いじめや不登校の生徒が少ない	1. とても重視する 45.5		
2. わりと重視する 42.1			
3. あまり重視しない 6.9			
4. ぜんぜん重視しない 5.5			
学校がよい地域にある	1. とても重視する 31.9		
2. わりと重視する 55.6			
3. あまり重視しない 8.3			
4. ぜんぜん重視しない 4.2			
希望する部活動が熱心に活動している	1. とても重視する 28.3		
2. わりと重視する 42.8			
3. あまり重視しない 22.8			
4. ぜんぜん重視しない 6.2			
小学校の仲のよい友だちが一緒である	1. とても重視する 27.6		
2. わりと重視する 23.4			
3. あまり重視しない 33.8			
4. ぜんぜん重視しない 15.2			
生活指導やしつけがしっかりしている	1. とても重視する 44.8		
2. わりと重視する 39.3			
3. あまり重視しない 10.3			
4. ぜんぜん重視しない 5.5			

質問項目			全体	
15	子どもの中学校選択をするときに、次のようなことをどの程度大【進学先として、校区外の中学校を選択した人】	PTA活動が活発である	1. とても重視する	3.4
			2. わりと重視する	22.8
			3. あまり重視しない	55.2
			4. ぜんぜん重視しない	18.6
		校舎がきれい	1. とても重視する	19.9
			2. わりと重視する	38.4
			3. あまり重視しない	36.3
			4. ぜんぜん重視しない	5.5
16	子どもの中学校選択をするとき、【進学先として、校区外の中学校を選択した人】役に立ったか	学校や教育委員会の学校説明会	1. とても役立った	18.1
			2. わりと役立った	52.9
			3. あまり役立たない	24.6
			4. まったく役立たない	4.3
		学校や教育委員会の配布資料	1. とても役立った	12.9
			2. わりと役立った	52.5
			3. あまり役立たない	27.3
			4. まったく役立たない	7.2
		小学校の先生のアドバイス	1. とても役立った	7.6
			2. わりと役立った	23.7
			3. あまり役立たない	45.0
			4. まったく役立たない	23.7
		塾のアドバイス	1. とても役立った	6.5
			2. わりと役立った	17.8
			3. あまり役立たない	29.0
			4. まったく役立たない	46.7
		親同士の情報交換・評判	1. とても役立った	25.4
			2. わりと役立った	53.5
			3. あまり役立たない	14.8
			4. まったく役立たない	6.3
		地域の評判や在校生の過ごし方	1. とても役立った	24.6
			2. わりと役立った	50.7
			3. あまり役立たない	18.3
			4. まったく役立たない	6.3
17	現在の中学校選択に自信を持っているか【進学先として、校区外の中学校を選択した人】	1. とても自信がある	13.8	
		2. わりと自信がある	59.7	
		3. あまり自信がない	21.4	
		4. ぜんぜん自信がない	5.0	
18	中学校選択についての次のような意見をどう思うか	学校間の競争心が生まれ、学校の特色が出てくる	1. とてもそう思う	20.5
			2. わりとそう思う	50.4
			3. あまりそう思わない	24.5
			4. ぜんぜんそう思わない	4.7
		親の選択によって、学校間格差が拡大する	1. とてもそう思う	19.7
			2. わりとそう思う	47.3
			3. あまりそう思わない	29.2
			4. ぜんぜんそう思わない	3.8
		公立中学校の落ち着きが失われる	1. とてもそう思う	6.7
			2. わりとそう思う	23.2
			3. あまりそう思わない	61.0
			4. ぜんぜんそう思わない	9.1

質問項目			全体	
18	中学校選択についての次のような意見をどう思うか	学校教育に保護者の意見が反映されやすくなる	1. とてもそう思う	6.6
			2. わりとそう思う	42.0
			3. あまりそう思わない	45.3
			4. ぜんぜんそう思わない	6.0
		先生たちが自信を失っているように見える	1. とてもそう思う	8.0
			2. わりとそう思う	23.4
			3. あまりそう思わない	60.4
			4. ぜんぜんそう思わない	8.2
		親の学校への関心が高まる	1. とてもそう思う	18.4
			2. わりとそう思う	56.2
			3. あまりそう思わない	21.6
			4. ぜんぜんそう思わない	3.8
19	中学校選択にあたって、親かどう感じて、親かどう判断を	親たちは中学校選択に迷っている	1. とてもそう思う	13.1
			2. わりとそう思う	43.2
			3. あまりそう思わない	40.0
			4. ぜんぜんそう思わない	3.6
		親たちは学校のうわさに振り回されている	1. とてもそう思う	18.2
			2. わりとそう思う	46.9
			3. あまりそう思わない	31.1
			4. ぜんぜんそう思わない	3.8
		親たちは賢く学校を選択しているように見える	1. とてもそう思う	4.2
			2. わりとそう思う	48.9
			3. あまりそう思わない	40.5
			4. ぜんぜんそう思わない	6.4
20	中学校選択という制度に賛成か、反対か	1. とても賛成	24.5	
		2. やや賛成	55.8	
		3. やや反対	16.8	
		4. とても反対	2.9	
21	子どもの小学校生活を振り返って、次のようなことをどう思うか	基礎的な学力が定着しなかった	1. とてもそうだった	5.5
			2. わりとそうだった	27.4
			3. あまりそうでなかった	47.3
			4. ぜんぜんそうでなかった	19.9
		学力向上のために塾などへ通った	1. とてもそうだった	18.7
			2. わりとそうだった	24.0
			3. あまりそうでなかった	11.7
			4. ぜんぜんそうでなかった	45.6
		総合的な学習の時間が楽しそうだった	1. とてもそうだった	16.3
			2. わりとそうだった	53.4
			3. あまりそうでなかった	25.9
			4. ぜんぜんそうでなかった	4.4
		学校行事が楽しそうだった	1. とてもそうだった	36.1
			2. わりとそうだった	50.8
			3. あまりそうでなかった	11.3
			4. ぜんぜんそうでなかった	1.8
		宿題が多くて大変なようだった	1. とてもそうだった	2.0
			2. わりとそうだった	8.6
			3. あまりそうでなかった	55.5
			4. ぜんぜんそうでなかった	33.9
		子ども同士の学力差が目についた	1. とてもそうだった	18.0
			2. わりとそうだった	38.0
			3. あまりそうでなかった	38.5
			4. ぜんぜんそうでなかった	5.5



質問項目		全体		
23	子どもが卒業する小学校に、満足しているか	1. とても満足している	22.1	
		2. わりと満足している	43.8	
		3. 少し満足している	17.4	
		4. あまり満足していない	13.0	
		5. ぜんぜん満足していない	3.8	
24	次のような中学校の行事を必要と思うか	入学式や卒業式	1. とても必要	77.3
			2. どちらかといえば必要	21.6
			3. どちらかといえば必要でない	0.9
			4. 必要でない	0.2
		始業式や終業式	1. とても必要	45.9
			2. どちらかといえば必要	42.6
			3. どちらかといえば必要でない	9.2
			4. 必要でない	2.3
		運動会	1. とても必要	61.5
			2. どちらかといえば必要	32.0
			3. どちらかといえば必要でない	5.2
			4. 必要でない	1.3
		文化祭	1. とても必要	54.6
			2. どちらかといえば必要	37.7
			3. どちらかといえば必要でない	6.3
			4. 必要でない	1.4
		修学旅行	1. とても必要	66.3
			2. どちらかといえば必要	31.0
			3. どちらかといえば必要でない	2.3
			4. 必要でない	0.4
		遠足	1. とても必要	51.9
			2. どちらかといえば必要	36.2
			3. どちらかといえば必要でない	10.9
			4. 必要でない	0.9
		マラソン大会	1. とても必要	21.4
			2. どちらかといえば必要	40.7
			3. どちらかといえば必要でない	29.2
			4. 必要でない	8.6
		水泳大会	1. とても必要	17.6
			2. どちらかといえば必要	41.3
			3. どちらかといえば必要でない	33.1
			4. 必要でない	8.0
		合唱祭や音楽会	1. とても必要	35.0
			2. どちらかといえば必要	50.7
			3. どちらかといえば必要でない	12.6
			4. 必要でない	1.6
中間考査や期末考査	1. とても必要	62.7		
	2. どちらかといえば必要	33.7		
	3. どちらかといえば必要でない	3.4		
	4. 必要でない	0.2		
保護者面談	1. とても必要	55.8		
	2. どちらかといえば必要	36.5		
	3. どちらかといえば必要でない	6.1		
	4. 必要でない	1.6		
家庭訪問	1. とても必要	12.6		
	2. どちらかといえば必要	26.1		
	3. どちらかといえば必要でない	36.6		
	4. 必要でない	24.7		

質問項目			全体	
25	中学教師に次のようなことを期待しているか	クラスをまとめるのが上手	1. とても期待する	56.8
			2. わりと期待する	37.5
			3. あまり期待しない	4.5
			4. ぜんぜん期待しない	1.3
		子どもの競争意識を養う	1. とても期待する	10.5
			2. わりと期待する	43.2
			3. あまり期待しない	40.7
			4. ぜんぜん期待しない	5.6
		しつけや生活指導より学力を優先する	1. とても期待する	10.4
			2. わりと期待する	29.3
			3. あまり期待しない	51.0
			4. ぜんぜん期待しない	9.3
		望みの高校に入学させる	1. とても期待する	23.8
			2. わりと期待する	47.7
			3. あまり期待しない	23.2
			4. ぜんぜん期待しない	5.3
		生活指導やしつけに厳しい	1. とても期待する	28.3
			2. わりと期待する	53.8
			3. あまり期待しない	15.6
			4. ぜんぜん期待しない	2.4
		部活動に熱心	1. とても期待する	26.5
			2. わりと期待する	49.5
			3. あまり期待しない	21.2
			4. ぜんぜん期待しない	2.7
		親の話や悩みを聞く	1. とても期待する	22.0
			2. わりと期待する	40.1
			3. あまり期待しない	31.8
			4. ぜんぜん期待しない	6.1
モラルや道徳心を重視した指導	1. とても期待する	43.2		
	2. わりと期待する	47.0		
	3. あまり期待しない	7.7		
	4. ぜんぜん期待しない	2.0		
26	中学教育に関して、次のようなことをどのように考えているか	環境教育の重視	1. とても賛成	36.6
			2. やや賛成	56.3
			3. やや反対	1.1
			4. とても反対	0.4
			5. よくわからない	5.6
		複数担任制やクラスの少人数制	1. とても賛成	50.8
			2. やや賛成	40.9
			3. やや反対	5.3
			4. とても反対	1.1
			5. よくわからない	1.8
		学力別編成などの授業形態の多様化	1. とても賛成	24.3
			2. やや賛成	49.4
			3. やや反対	18.2
			4. とても反対	3.5
			5. よくわからない	4.5
		地域の人の力を借りた授業	1. とても賛成	18.1
			2. やや賛成	63.4
			3. やや反対	11.0
			4. とても反対	1.3
			5. よくわからない	6.2

質問項目		全体		
26	中学教育に関して、次のようなことをどのよう に考えているか	学校評議員制度の導入	1. とても賛成	7.8
			2. やや賛成	40.9
			3. やや反対	22.5
			4. とても反対	2.6
			5. よくわからない	26.2
		授業時間の長さの弾力化	1. とても賛成	13.7
			2. やや賛成	47.2
			3. やや反対	19.4
			4. とても反対	1.7
			5. よくわからない	18.0
		校区の拡大や中学校選択の自由	1. とても賛成	21.9
			2. やや賛成	51.6
			3. やや反対	16.4
			4. とても反対	2.6
			5. よくわからない	7.6
		スクールカウンセラーの導入	1. とても賛成	42.6
			2. やや賛成	48.0
			3. やや反対	3.0
			4. とても反対	0.4
			5. よくわからない	6.1
		選択科目を増やす	1. とても賛成	21.6
			2. やや賛成	50.4
			3. やや反対	17.7
			4. とても反対	2.4
			5. よくわからない	7.9
		情報機器やコンピュータを利用した授業	1. とても賛成	43.2
			2. やや賛成	51.1
			3. やや反対	2.9
			4. とても反対	0.7
			5. よくわからない	2.0
		総合的な学習の時間	1. とても賛成	24.4
			2. やや賛成	51.5
			3. やや反対	13.9
			4. とても反対	3.5
			5. よくわからない	6.7
		教員の人事考課制度	1. とても賛成	25.8
			2. やや賛成	40.0
			3. やや反対	7.1
			4. とても反対	2.1
			5. よくわからない	25.0
		民間出身の校長を採用する	1. とても賛成	15.3
			2. やや賛成	36.9
			3. やや反対	18.5
			4. とても反対	3.2
			5. よくわからない	26.1
部活動を社会体育に移行する	1. とても賛成	7.7		
	2. やや賛成	28.0		
	3. やや反対	24.1		
	4. とても反対	7.5		
	5. よくわからない	32.7		
ボランティア活動を重視した教育	1. とても賛成	20.4		
	2. やや賛成	58.0		
	3. やや反対	10.2		
	4. とても反対	1.3		
	5. よくわからない	10.2		

質問項目			全体	
26	中学をどのよう に教育のよ うに考 えてい るか か	中高一貫教育	1. とても賛成	25.9
			2. やや賛成	40.5
			3. やや反対	15.5
			4. とても反対	3.1
			5. よくわからない	15.0
		保護者への評価基準の説明	1. とても賛成	29.9
			2. やや賛成	53.5
			3. やや反対	5.2
			4. とても反対	1.1
			5. よくわからない	10.3
27	この調査に答えたのは誰か	1. お父さん	7.0	
		2. お母さん	91.8	
		3. その他	1.3	
28	子どもは何人か	1. 1人	15.1	
		2. 2人	55.5	
		3. 3人	24.7	
		4. 4人	4.0	
		5. 5人以上	0.7	
29	子どもをどこまで進学させたいか	1. 中学校	0.8	
		2. 高校	9.4	
		3. 短大	8.1	
		4. 専門・専修学校	13.5	
		5. 4年制大学	59.4	
		6. 大学院	4.5	
		7. その他	4.3	
30	子どもは、小学校へ行くのが楽しそうだったか	1. とても楽しそう	47.4	
		2. わりと楽しそう	45.0	
		3. あまり楽しそうではない	6.4	
		4. ぜんぜん楽しそうではない	1.3	
31	子どもの小学校では、いじめがあったか	1. とてもあった	5.9	
		2. わりとあった	25.6	
		3. あまりなかった	54.9	
		4. ぜんぜんなかった	13.6	
32	あなたは、次のような小学校の行事に参加していたか	授業参観	1. とてもよく参加した	45.3
			2. わりと参加した	37.6
			3. あまり参加しなかった	15.1
			4. まったく参加しなかった	2.0
		学級懇談会(保護者会)	1. とてもよく参加した	39.1
			2. わりと参加した	34.5
			3. あまり参加しなかった	20.5
			4. まったく参加しなかった	5.8
		担任の先生との個人面談	1. とてもよく参加した	66.2
			2. わりと参加した	25.8
			3. あまり参加しなかった	5.8
			4. まったく参加しなかった	2.2
		運動会	1. とてもよく参加した	83.0
			2. わりと参加した	15.5
			3. あまり参加しなかった	1.3
			4. まったく参加しなかった	0.2
文化祭(学芸会など)	1. とてもよく参加した	72.5		
	2. わりと参加した	19.2		
	3. あまり参加しなかった	6.6		
	4. まったく参加しなかった	1.6		

質問項目		全体	
33	PTAの役員をしたことがあるか	1. まったくない	17.7
		2. 学級の役員をやった	60.6
		3. 学校の役員をやった	7.5
		4. 学級・学校両方の役員をやった	14.2
34	1) 最終学校を卒業した年齢	1. 15歳	4.4
		2. 18歳(高校卒業)	41.8
		3. 20歳	31.4
		4. 22歳	17.5
		5. それ以上	4.8
34	2) 職業は何か	1. フルタイム	22.8
		2. パートタイム	30.4
		3. 自営業	13.6
		4. 専業主婦	26.6
		5. その他	6.6